

目次

秋田県	5	-	4
1. 大館・鹿角医療圏	5	-	10
2. 北秋田医療圏	5	-	16
3. 能代・山本医療圏	5	-	22
4. 秋田周辺医療圏	5	-	28
5. 由利本荘・にかほ医療圏	5	-	34
6. 大仙・仙北医療圏	5	-	40
7. 横手医療圏	5	-	46
8. 湯沢・雄勝医療圏	5	-	52

本書の見方

・「偏差値」について

各医療圏の人口当たり医療資源量の相対的な位置づけを知るために、偏差値を用いている。偏差値の計算方法は以下の通り。図表では偏差値の高低をセルの色分けで表示。

$$\text{偏差値} = 50 + 10 \times \frac{(\text{A医療圏のBの値}) - (\text{Bの全国平均値})}{(\text{Bの標準偏差})}$$

※全国平均とA医療圏のBという指標の値が一致すると偏差値が50になるよう、あえて344医療圏の平均でなく、全国平均値を用いて計算している。正確に計算した偏差値とはやや異なるが、指標が全国平均値と一致すると偏差値は50となり、その地域の指標が全国平均より高いか低いかを判断しやすい。

偏差値	65以上	55～65	45～55	35～45	35未満
セルの色					

・出所情報

図表1	人口、65歳以上人口、75歳以上人口(2015年)、高齢者世帯	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
図表2	要介護者数、要介護3以上人数	平成28年度介護保険事業状況報告(年報)
図表5、6	人口の推移	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月及び日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 を基に各年1月の推計値を算出
	需要の推移	必要なベッド数=(65～74歳人口)×(65～74歳の高齢者施設利用率)+(75～84歳人口)×(75～84歳の高齢者施設利用率)+(85歳以上人口)×(85歳以上の高齢者施設利用率) として算出
図表7	総高齢者施設・住宅定員数	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計
図表7	介護保険施設定員(病床)数	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計
図表7	高齢者住宅定員数	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住(特定施設)の合計
図表8	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表9	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム	
図表10	サ高住(特定施設)、サ高住(非特定施設)	平成30年6月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表11	介護職員数(介護施設等)、看護師数(施設)	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表14	在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月
図表15	回復期病床数	平成29年度病床機能報告 平成29年7月
図表15	地域包括ケア病床数	平成30年5月地方厚生局
図表17	訪問介護、訪問看護、通所介護、通所リハ、訪問入浴、短期入所、居宅介護支援	平成30年6月 介護サービス情報公表システムに基づいて株式会社ウェルネスが市区町村別に集計したもの

都道府県別の地図および医療圏別の図表13、図表16の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1666号)

秋田県

■ 人口動態と要介護者の現状

秋田県は、人口1,023,119人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は346,300人、高齢化率(65歳以上人口割合)は34%と高い。

要介護数(認定者)は57,000人、要介護認定率は16%と非常に高い。うち要介護3以上は28,934人、要介護者数に占める割合は51%と高い。

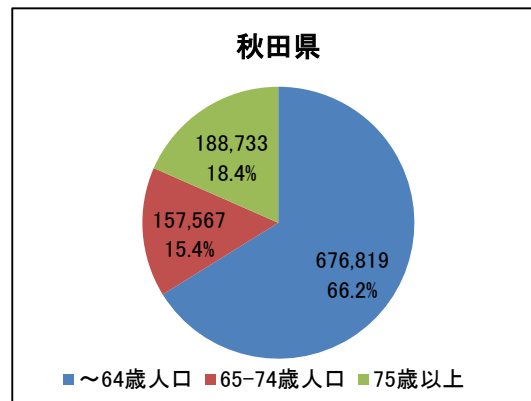
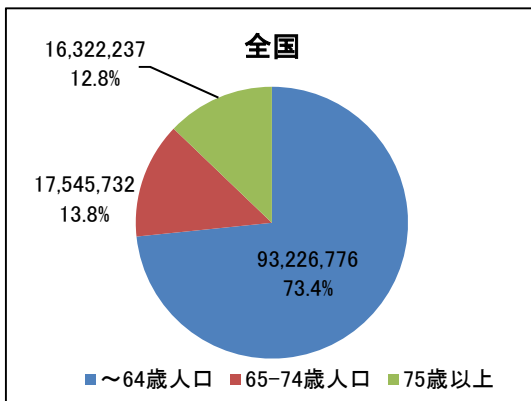
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
秋田県	1,023,119	346,300	188,733	34%	64	147,594	33%	32%

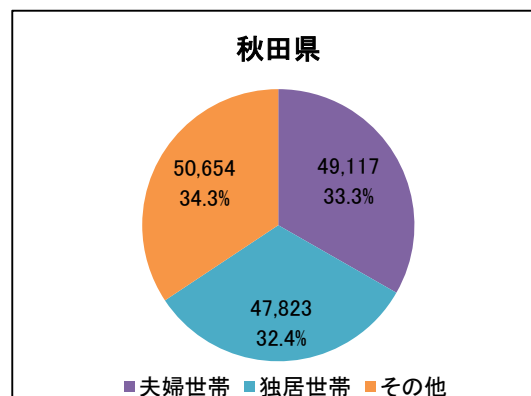
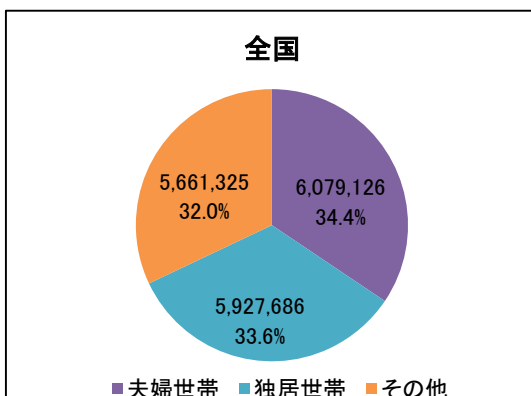
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
秋田県	57,000	16%	67	28,934	51%	58

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



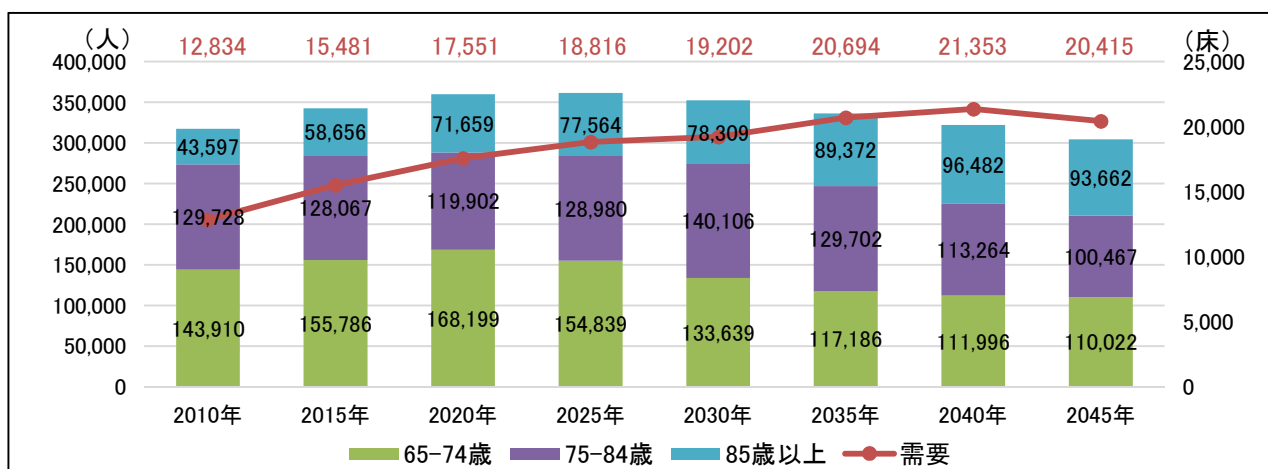
秋田県

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、秋田県の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が186,723(128,067+58,656)人であるが、ピーク時の2035年には219,074人まで増加すると推計され、2015年比17%増加する。

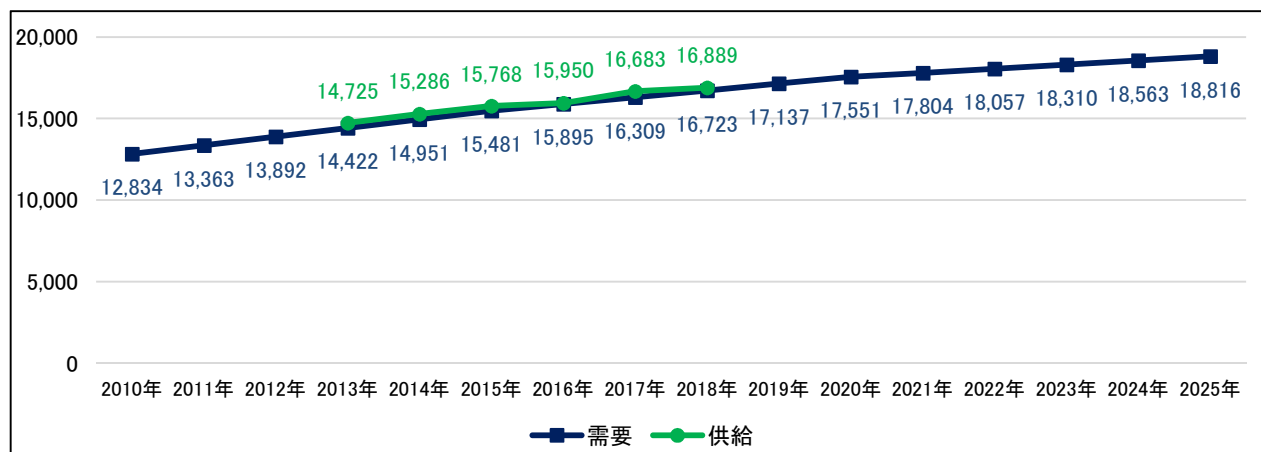
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、秋田県の施設需要のピークは2040年の21,353人であり、2015年の15,481人と比べ、38%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、秋田県の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要14,951人、供給15,286人と「供給>需要(+2%)」である。2018年は需要16,723人、供給16,889人と「供給>需要(+1%)」である。秋田県の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、需要と供給が拮抗する状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



秋田県

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16,648人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12,199床(偏差値53)、高齢者住宅等が4,449床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム41、軽費ホーム52、グループホーム52、サ高住(特定施設)63である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値64と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値48と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
秋田県	16,648	1.1%	88	48	12,199	1.2%	65	53	4,449	0.9%	24	45

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
秋田県	5,193	1.4%	28	59	6,569	1.1%	35	50	437	0.7%	2.3	47

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
秋田県	825	0.3%	4.4	41	359	1.5%	1.9	52	2,560	1.3%	13.6	52

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

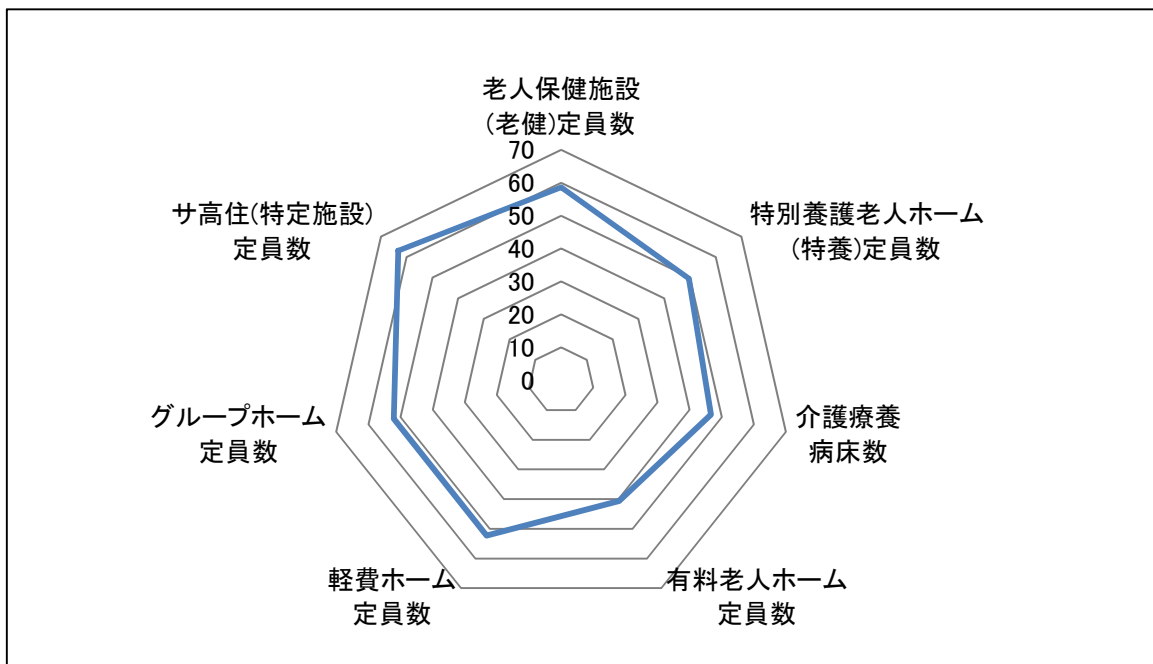
二次医療圏	サ高住(特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
秋田県	705	3.2%	3.7	63	209,785		12.9	(6.8)
					1,070	0.5%	5.7	39

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

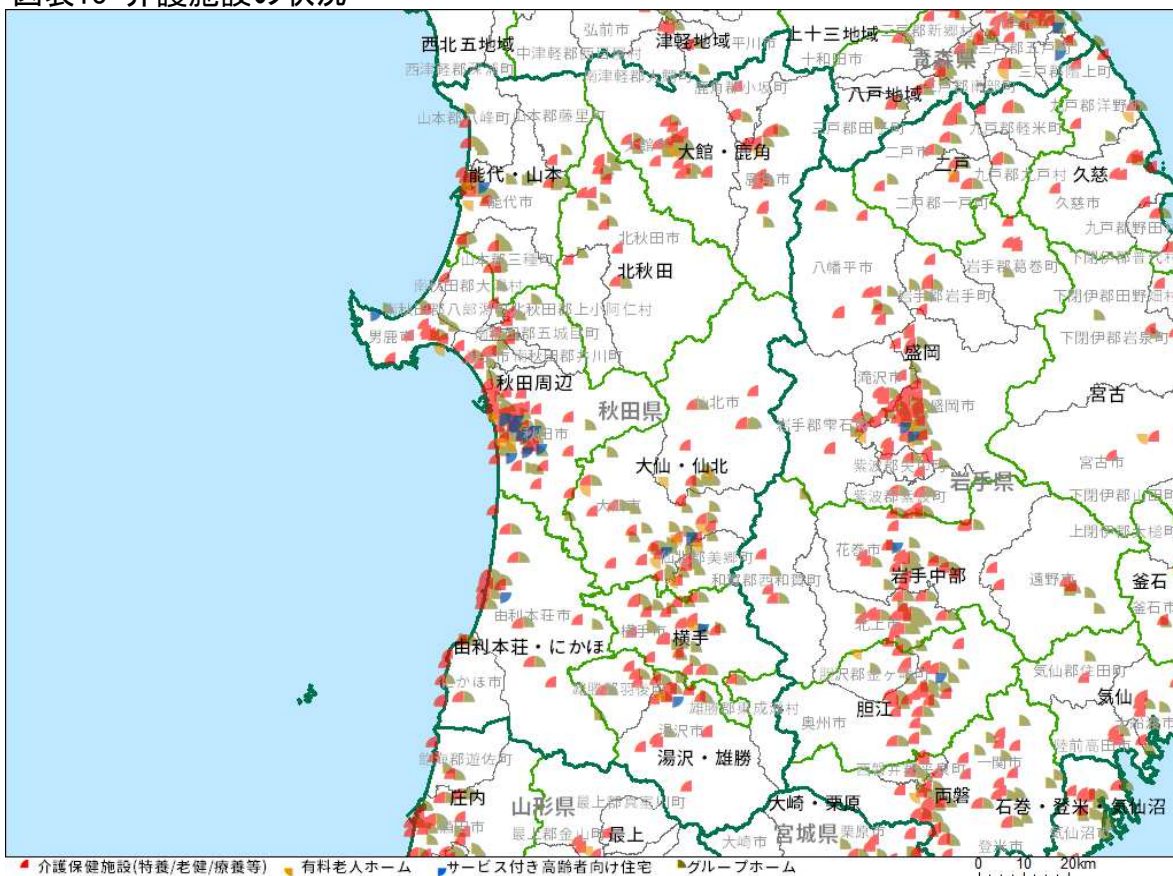
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
秋田県	17,879	1.4%	95	64	1,330	1.1%	7.0	48

秋田県

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



秋田県

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値41と少なく、訪問看護が偏差値36と少なく、通所介護が偏差値42と少ない。通所リハが偏差値42と少なく、訪問入浴が偏差値56と多く、短期入所が偏差値88と非常に多く、居宅介護支援が偏差値44と少ない。訪問介護利用者数は偏差値43と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値45と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値34と全国平均レベルを大きく下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
秋田県	257	0.8%	1.4	41	71	0.6%	0.4	36	374	0.8%	2.0	42

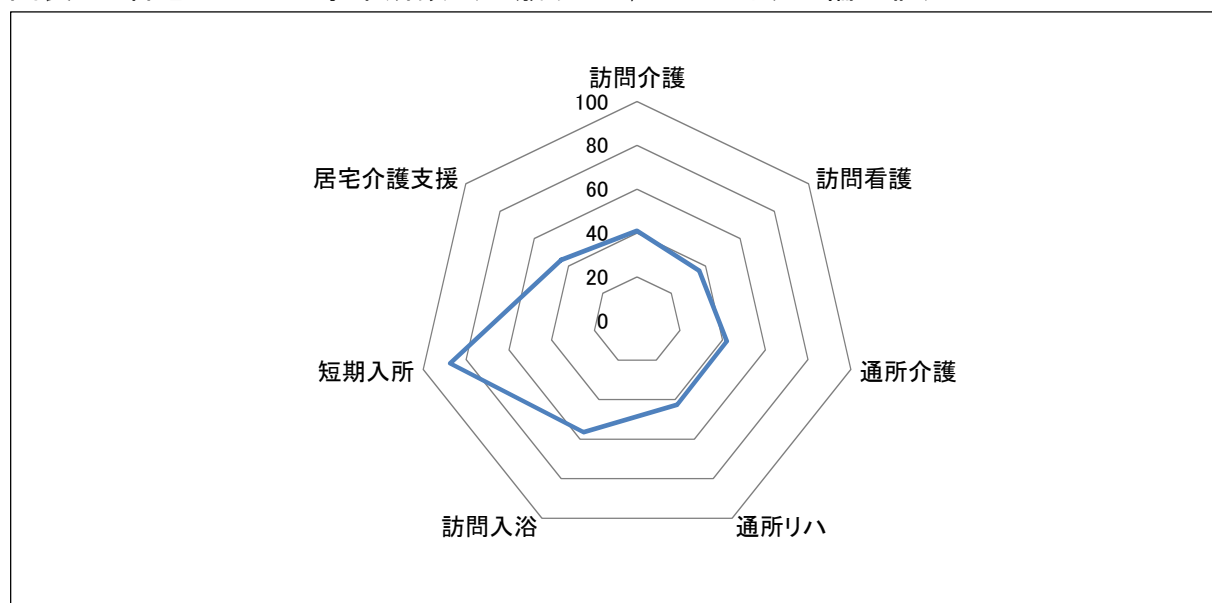
二次医療圏	通所リハ	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
秋田県	57	0.8%	0.3	42	35	1.8%	0.2	56	301	2.9%	1.6	88

二次医療圏	居宅介護支援	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
秋田県	409	1.0%	2.2	44

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(訪問)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
秋田県	10,689	0.9%	56.6	43	2,063	0.9%	10.9	45	279	0.5%	1.5	34

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



大館・鹿角

■ 人口動態と要介護者の現状

大館・鹿角は、人口111,552人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は40,704人、高齢化率(65歳以上人口割合)は36%と非常に高い。

要介護数(認定者)は6,464人、要介護認定率は16%と高い。うち要介護3以上は3,406人、要介護者数に占める割合は53%と高い。

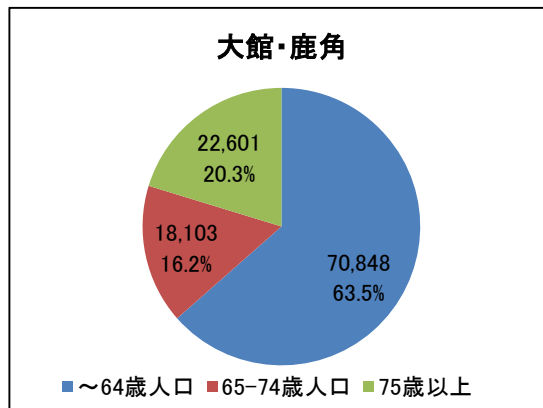
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
大館・鹿角	111,552	40,704	22,601	36%	69	17,619	32%	34%

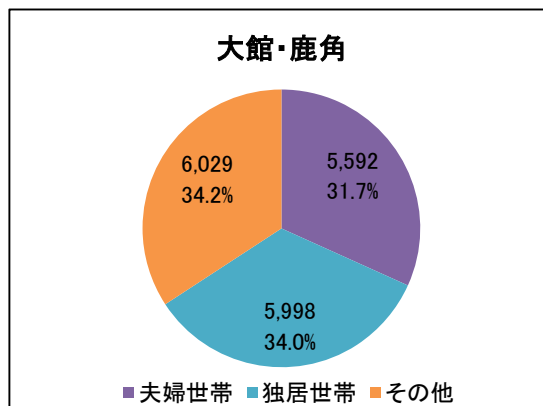
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
大館・鹿角	6,464	16%	63	3,406	53%	63

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



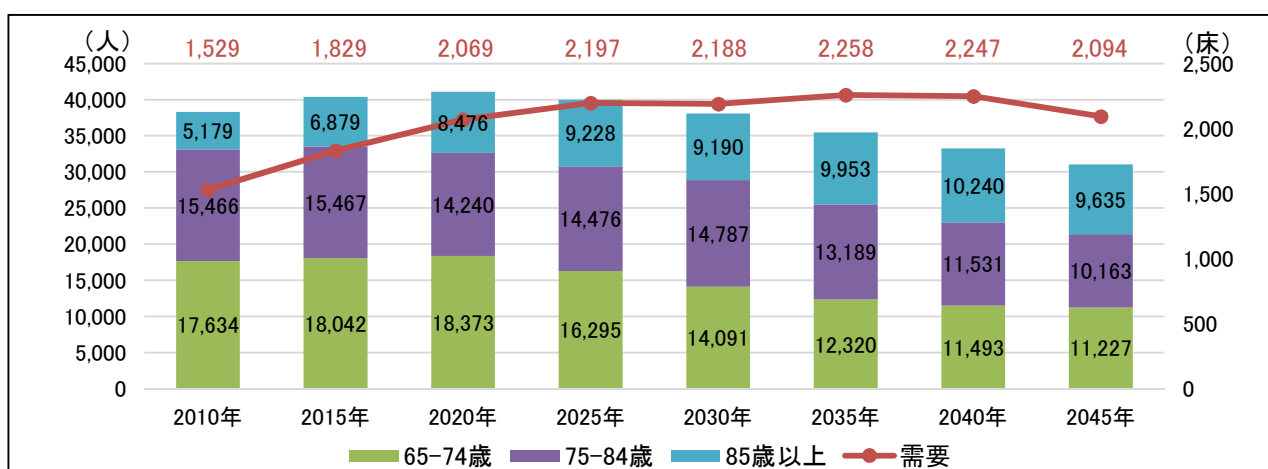
大館・鹿角

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、大館・鹿角の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2015年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が22,346(15,467+6,879)人であるが、ピーク時の2030年には23,977人まで増加すると推計され、2015年比7%増加する。

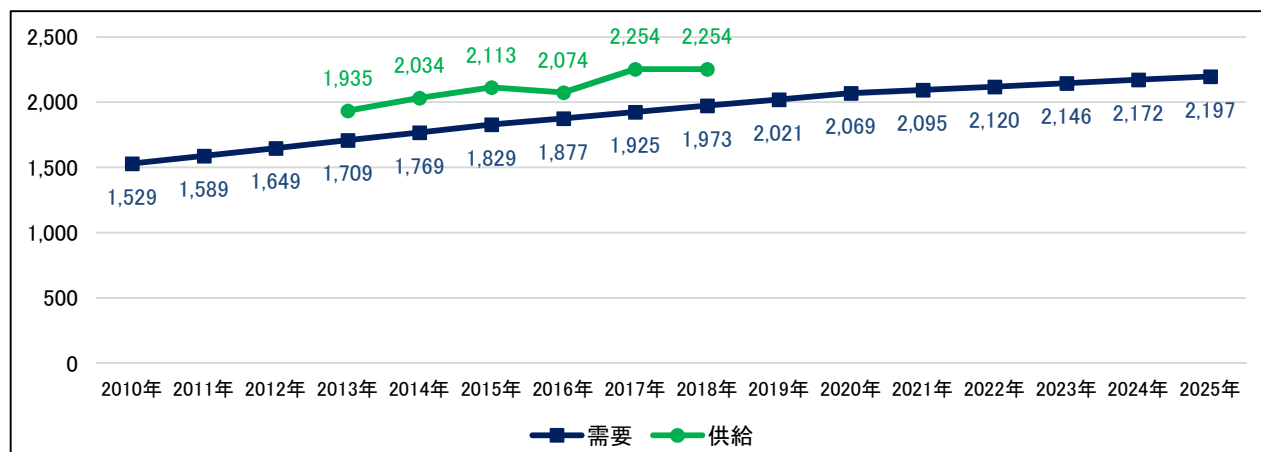
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、大館・鹿角の施設需要のピークは2035年の2,258人であり、2015年の1,829人と比べ、23%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、大館・鹿角の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,769人、供給2,034人と「供給>需要(+15%)」である。2018年は需要1,973人、供給2,254人と「供給>需要(+14%)」である。大館・鹿角の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、やや余裕がある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



大館・鹿角

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,216人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,710床(偏差値62)、高齢者住宅等が506床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設74、有料老人ホーム39、軽費ホーム67、グループホーム54、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値63と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値65と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
大館・鹿角	2,216	13.3%	98	55	1,710	14.0%	76	62	506	11.4%	22	44

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
大館・鹿角	612	11.8%	27	58	800	12.2%	35	50	298	68.2%	13.2	74

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
大館・鹿角	59	7.2%	2.6	39	114	31.8%	5.0	67	333	13.0%	14.7	54

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

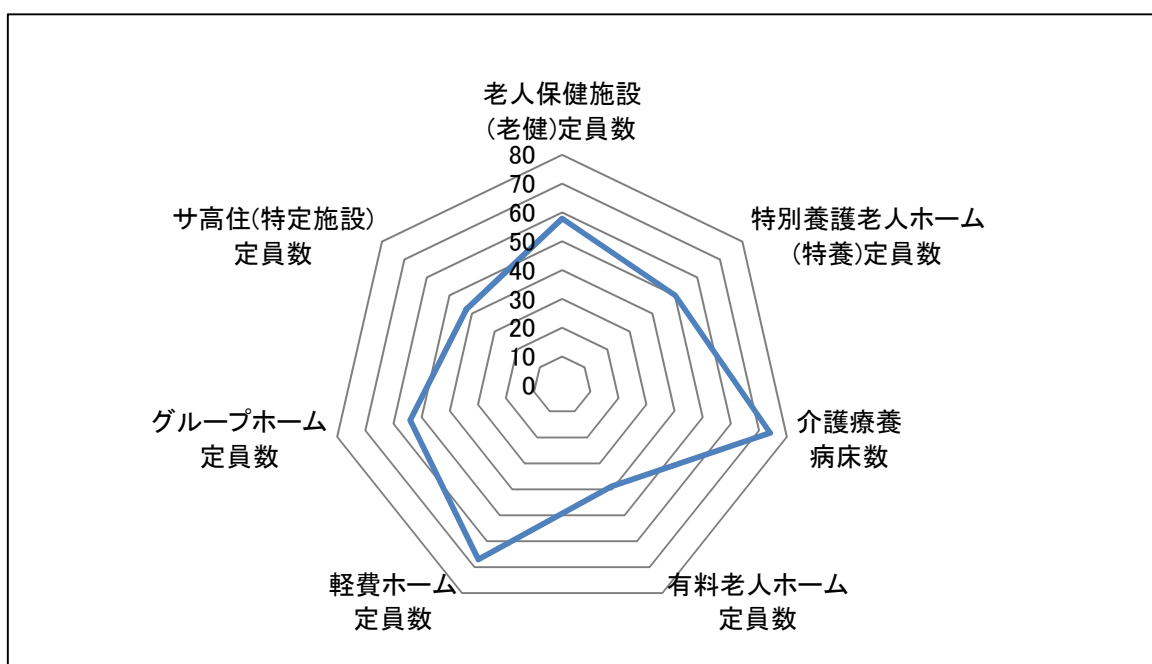
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
大館・鹿角	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					166	15.5%	7.3	42

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

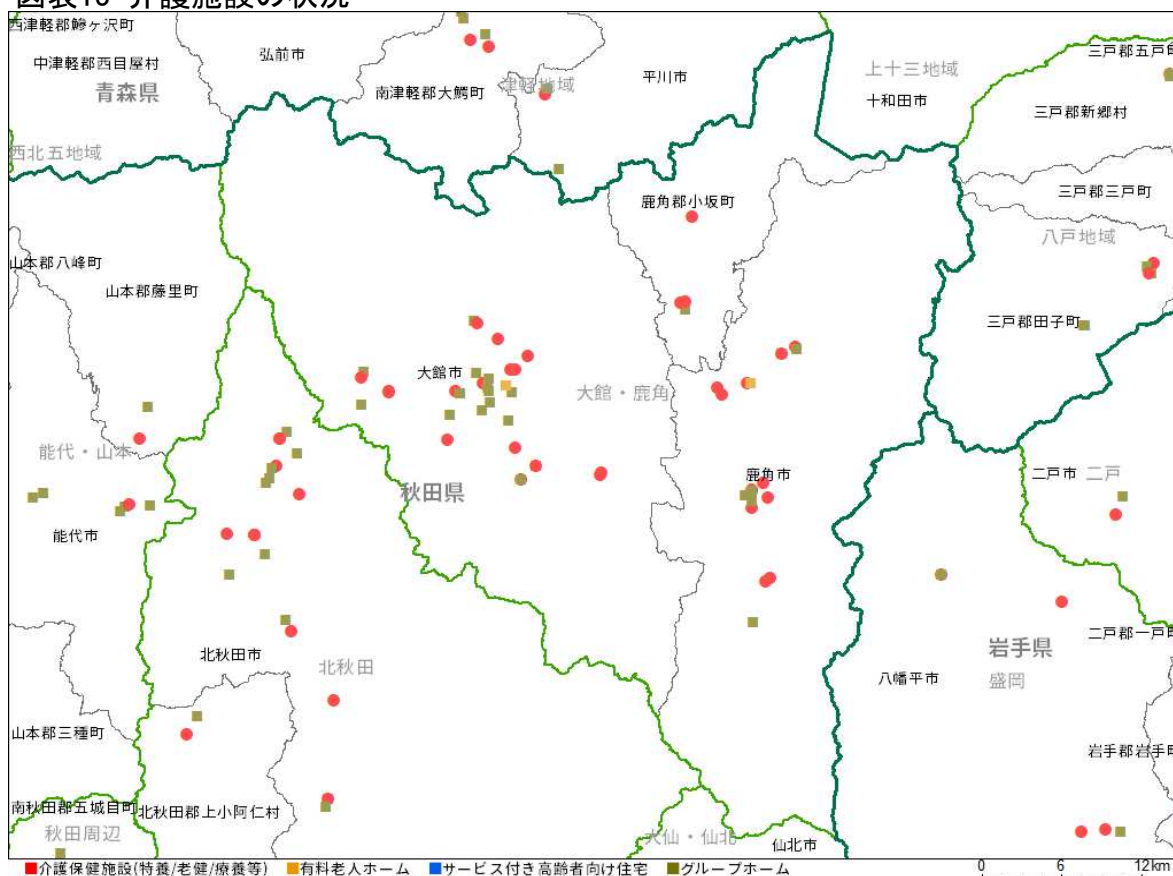
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
大館・鹿角	2,109	11.8%	93	63	232	17.5%	10.3	65

大館・鹿角

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



大館・鹿角

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値35と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値54とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値58と多い。

図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
大館・鹿角	1	11.1%	0.0	44	5	6.8%	0.2	35

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
大館・鹿角	91	20.0%	81.6	54	114	13.7%	102.2	58

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



大館・鹿角

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値40と少なく、訪問看護が偏差値35と少なく、通所介護が偏差値40と少ない。通所リハが偏差値41と少なく、訪問入浴が偏差値73と非常に多く、短期入所が偏差値68と非常に多く、居宅介護支援が偏差値37と少ない。訪問介護利用者数は偏差値41と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値43と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値32と全国平均レベルを大きく下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
大館・鹿角	29	11.3%	1.3	40	8	11.3%	0.4	35	39	10.4%	1.7	40

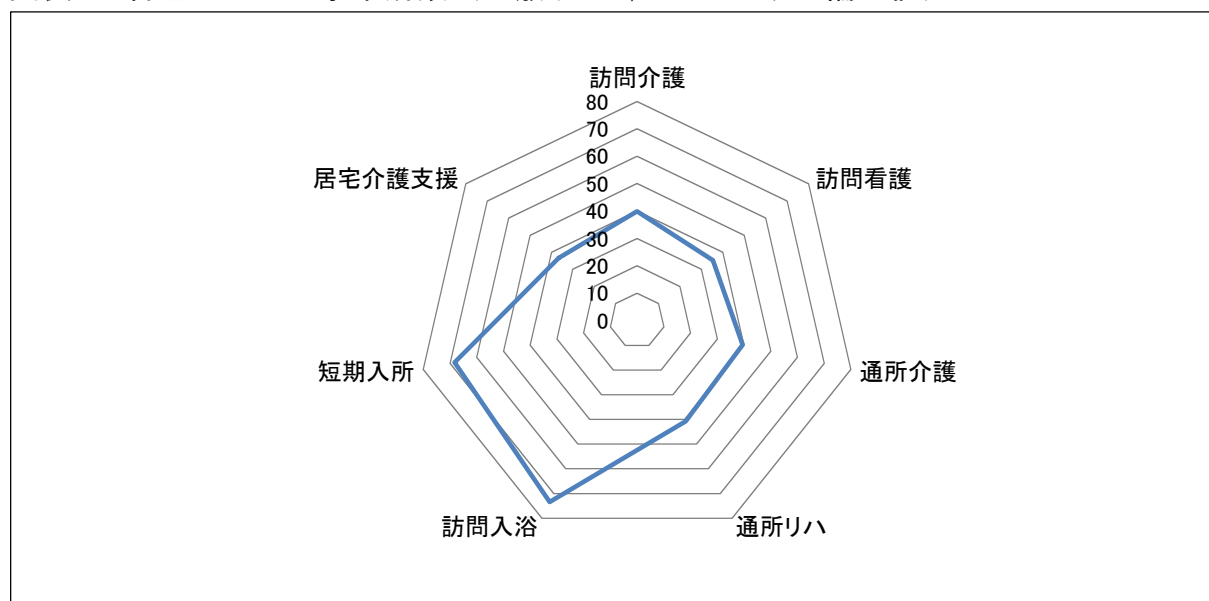
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
大館・鹿角	6	10.5%	0.3	41	8	22.9%	0.4	73	25	8.3%	1.1	68

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
大館・鹿角	39	9.5%	1.7	37

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
大館・鹿角	1,154	10.8%	51.1	41	223	10.8%	9.9	43	29	10.3%	1.3	32

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



北秋田

■ 人口動態と要介護者の現状

北秋田は、人口35,605人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は14,682人、高齢化率(65歳以上人口割合)は41%と非常に高い。

要介護数(認定者)は2,542人、要介護認定率は17%と非常に高い。うち要介護3以上は1,335人、要介護者数に占める割合は53%と高い。

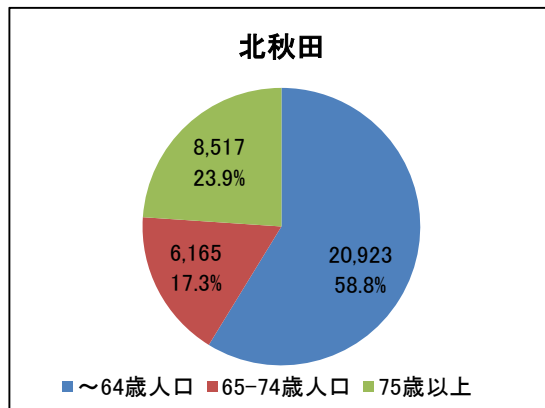
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
北秋田	35,605	14,682	8,517	41%	79	6,230	34%	34%

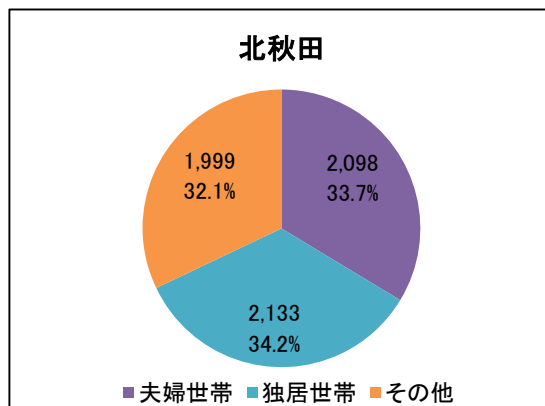
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
北秋田	2,542	17%	72	1,335	53%	63

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



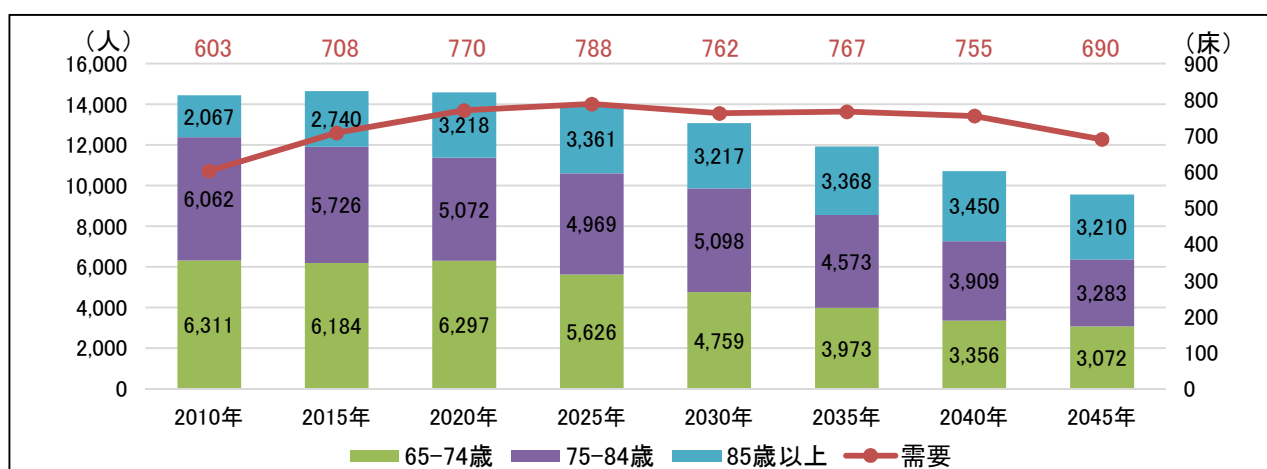
北秋田

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、北秋田の65歳以上人口のピークは2015年、65-74歳人口のピークは2010年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が8,466(5,726+2,740)人で、ピークとなっている。

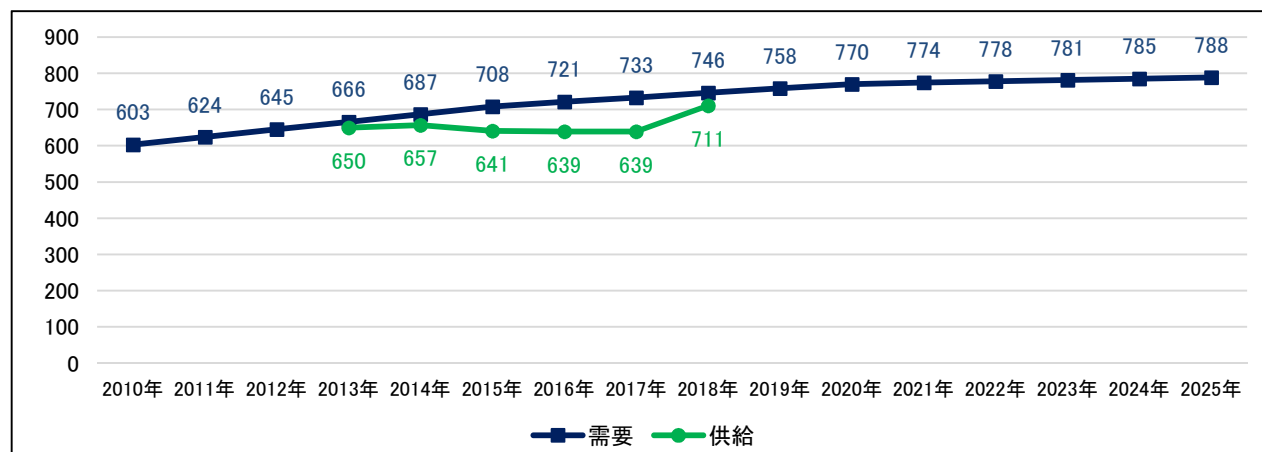
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、北秋田の施設需要のピークは2025年の788人であり、2015年の708人と比べ、11%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、北秋田の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要687人、供給657人と「供給<需要(-4%)」である。2018年は需要746人、供給711人と「供給<需要(-5%)」である。北秋田の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、需要と供給が拮抗する状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



北秋田

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、777人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が643床(偏差値61)、高齢者住宅等が134床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値56と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値41と全国平均レベルを下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
北秋田	777	4.7%	91	50	643	5.3%	75	61	134	3.0%	16	39

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
北秋田	180	3.5%	21	48	463	7.0%	54	69	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
北秋田	0	0.0%	0	37	0	0.0%	0	43	134	5.2%	15.7	56

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

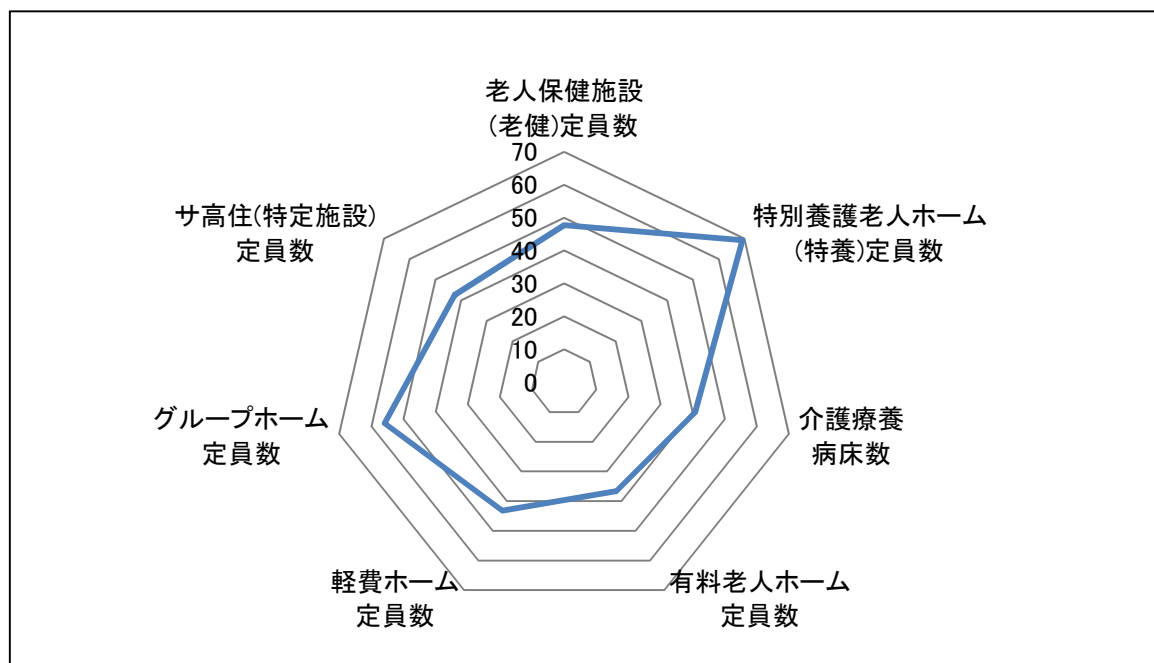
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
北秋田	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					0	0.0%	0	31

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

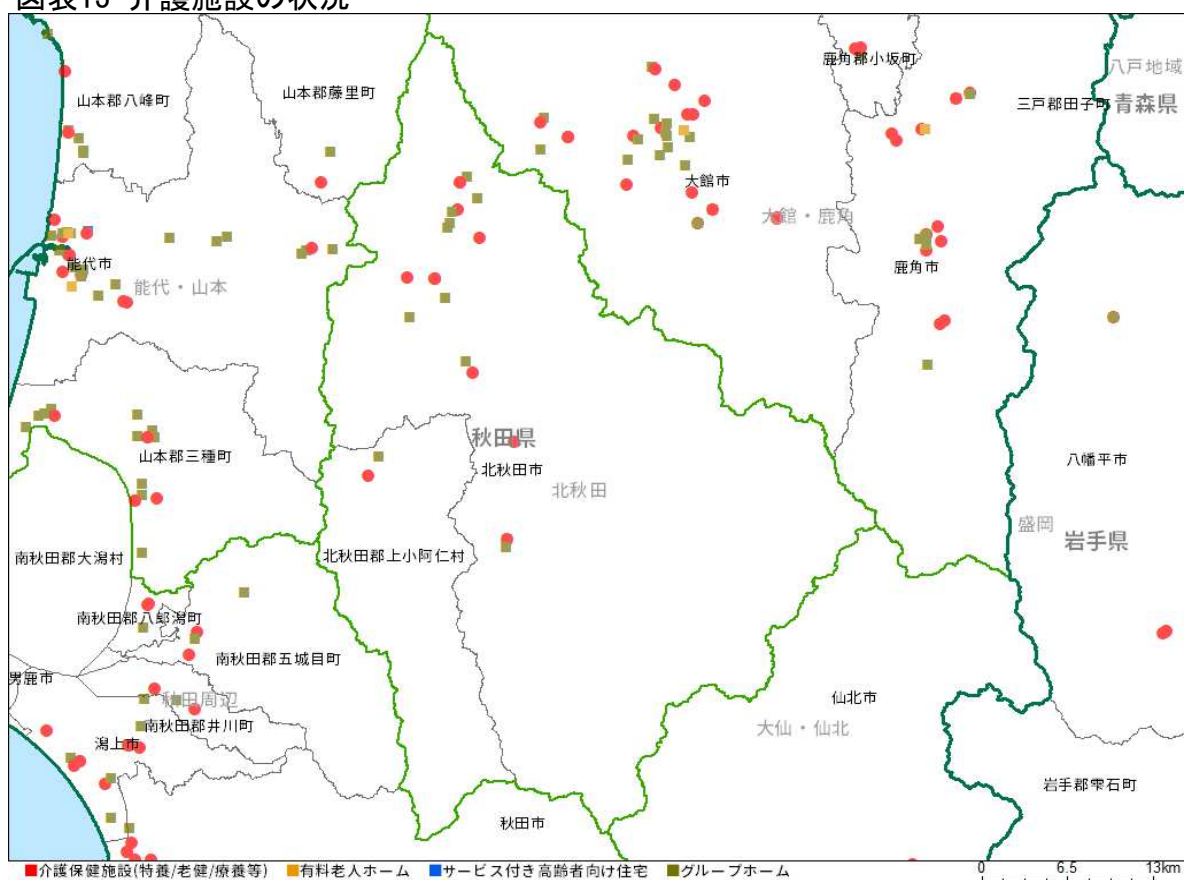
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
北秋田	726	4.1%	85	56	47	3.6%	5.6	41

北秋田

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



北秋田

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院はなし(偏差値38)である。在宅療養支援診療所数は偏差値33と非常に少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値360である。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値63と多い。

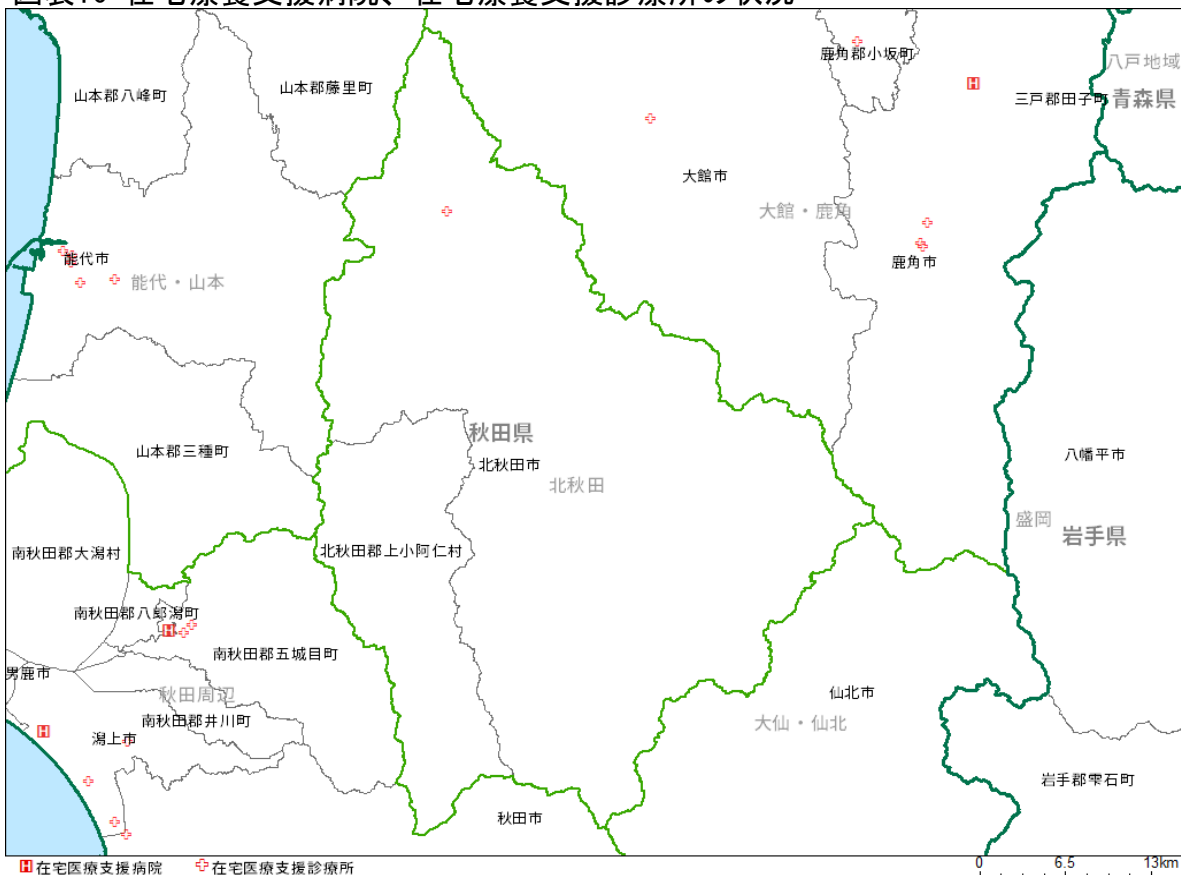
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
北秋田	0	0.0%	0	38	1	1.4%	0.1	33

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
北秋田	0	0.0%	0	36	48	5.7%	134.8	63

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



北秋田

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値40と少なく、訪問看護が偏差値41と少なく、通所介護が偏差値40と少ない。通所リハが偏差値39と少なく、訪問入浴が偏差値73と非常に多く、短期入所が偏差値71と非常に多く、居宅介護支援が偏差値37と少ない。訪問介護利用者数は偏差値46とやや少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値45と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値39と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
北秋田	11	4.3%	1.3	40	4	5.6%	0.5	41	15	4.0%	1.8	40

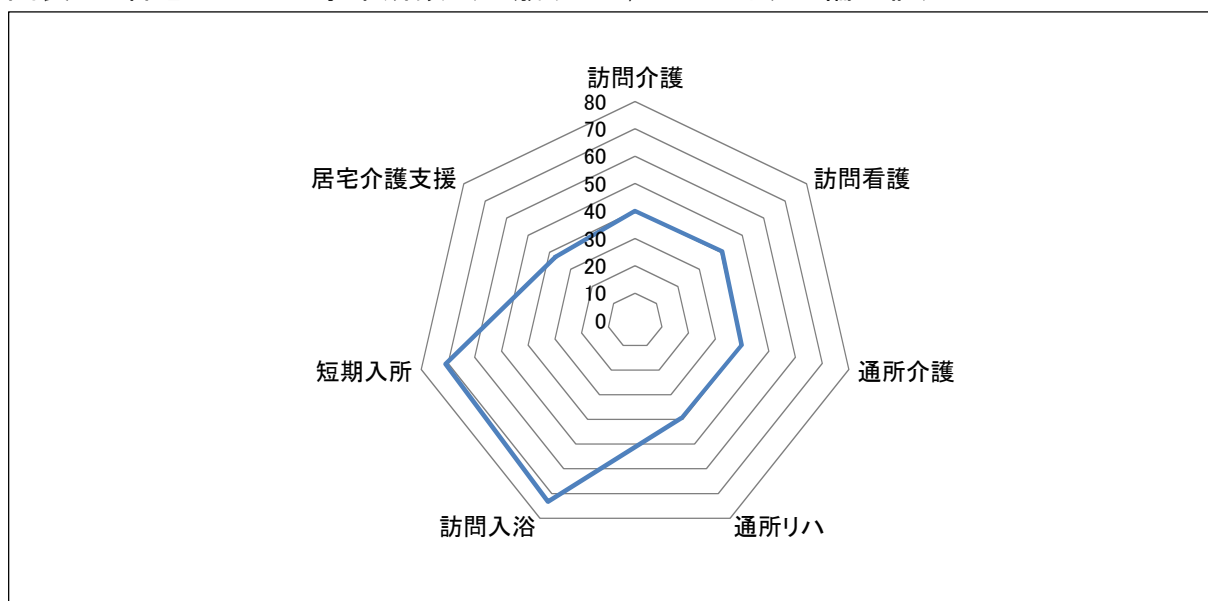
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
北秋田	2	3.5%	0.2	39	3	8.6%	0.4	73	10	3.3%	1.2	71

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
北秋田	15	3.7%	1.8	37

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
北秋田	555	5.2%	65.2	46	90	4.3%	10.5	45	17	6.2%	2.0	39

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



能代・山本

■ 人口動態と要介護者の現状

能代・山本は、人口82,476人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は32,028人、高齢化率(65歳以上人口割合)は39%と非常に高い。

要介護数(認定者)は5,274人、要介護認定率は16%と非常に高い。うち要介護3以上は2,677人、要介護者数に占める割合は51%と高い。

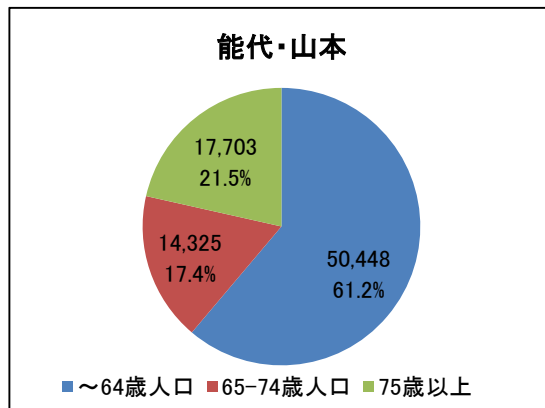
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
能代・山本	82,476	32,028	17,703	39%	74	14,248	33%	35%

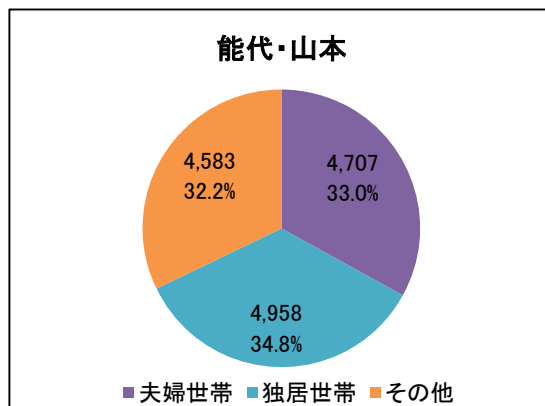
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
能代・山本	5,274	16%	67	2,677	51%	58

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



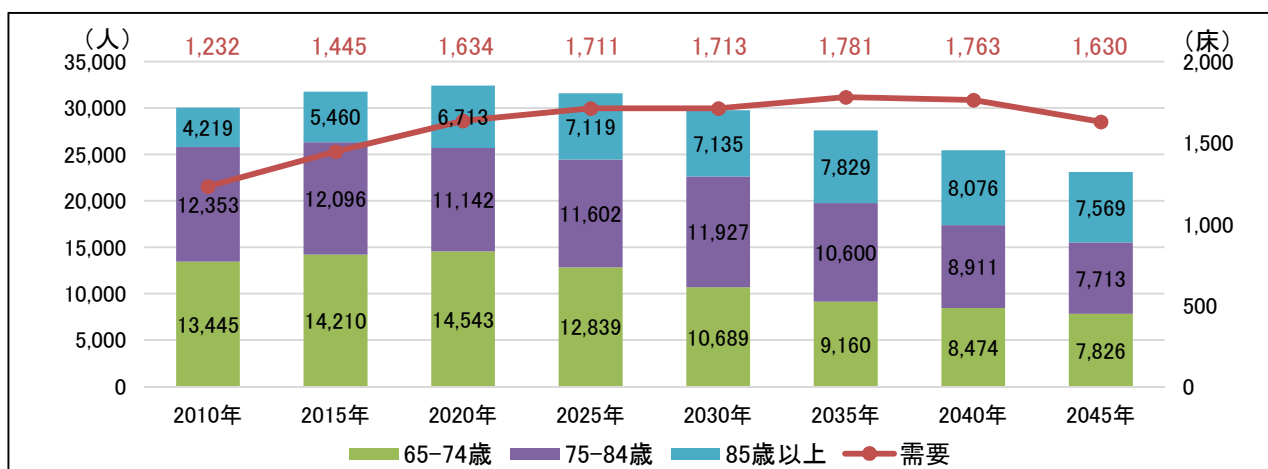
能代・山本

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、能代・山本の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が17,556(12,096+5,460)人であるが、ピーク時の2030年には19,062人まで増加すると推計され、2015年比9%増加する。

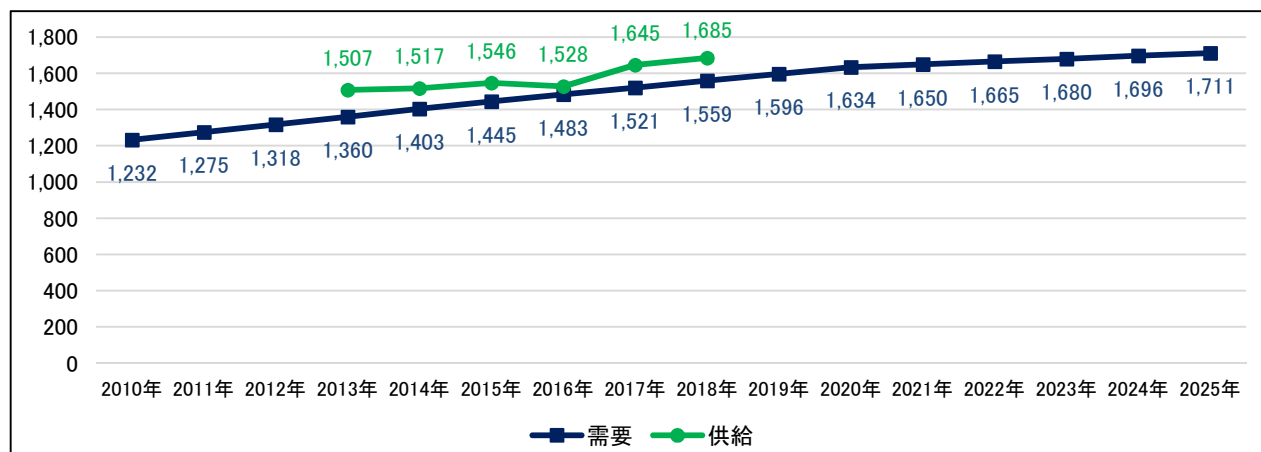
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、能代・山本の施設需要のピークは2035年の1,781人であり、2015年の1,445人と比べ、23%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、能代・山本の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,403人、供給1,517人と「供給>需要(+8%)」である。2018年は需要1,559人、供給1,685人と「供給>需要(+8%)」である。能代・山本の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、やや余裕がある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



能代・山本

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,681人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,081床(偏差値50)、高齢者住宅等が600床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム40、軽費ホーム47、グループホーム73、サ高住(特定施設)64である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値69と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値47と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
能代・山本	1,681	10.1%	95	53	1,081	8.9%	61	50	600	13.5%	34	53

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
能代・山本	375	7.2%	21	48	577	8.8%	33	47	129	29.5%	7.3	59

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
能代・山本	57	6.9%	3.2	40	15	4.2%	0.8	47	458	17.9%	25.9	73

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

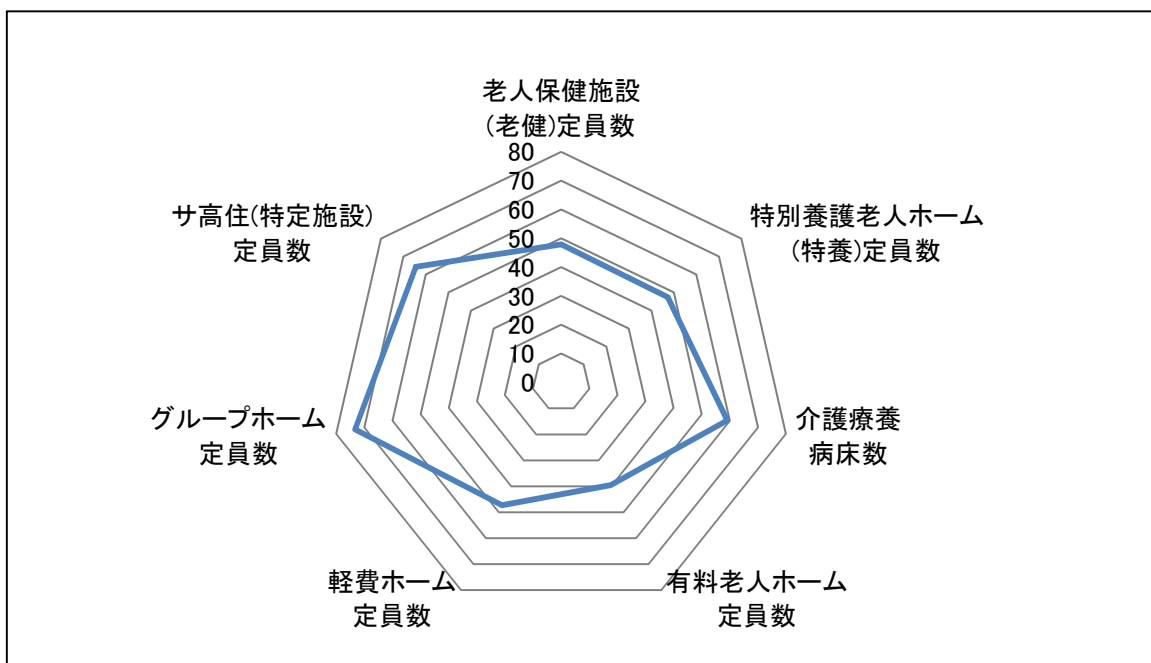
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
能代・山本	70	9.9%	4.0	64	209,785		12.9	(6.8)
					188	17.6%	10.6	47

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

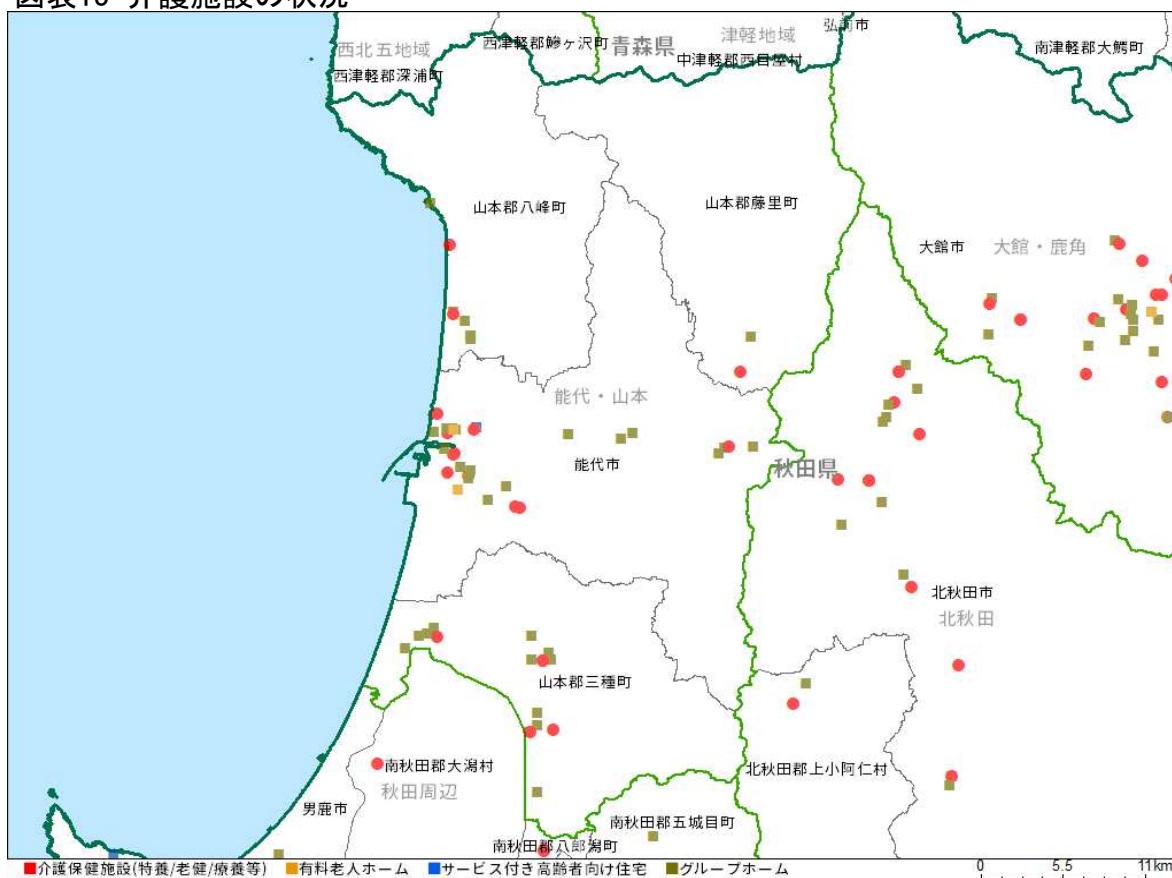
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
能代・山本	1,775	9.9%	100	69	119	8.9%	6.7	47

能代・山本

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



能代・山本

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院はなし(偏差値38)である。在宅療養支援診療所数は偏差値37と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値46とやや少ない。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値52と全国平均レベルである。

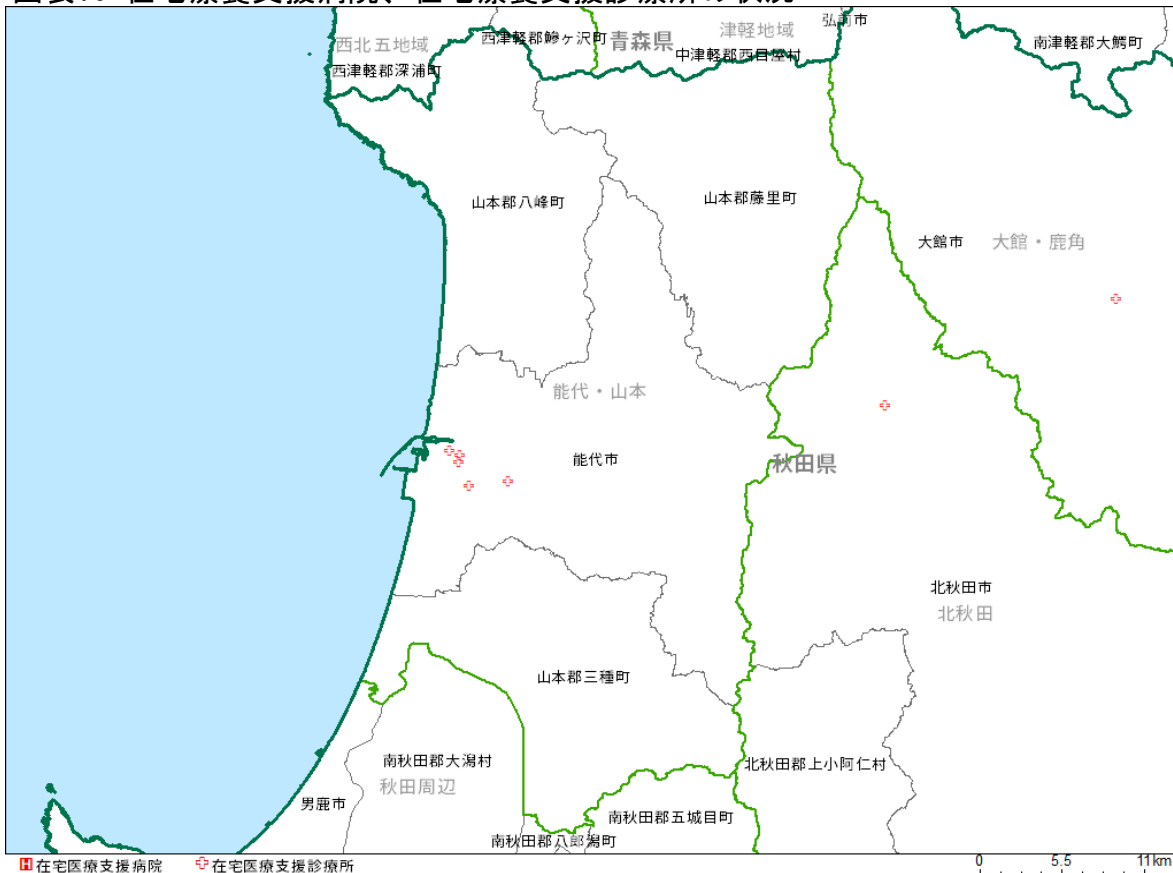
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
能代・山本	0	0.0%	0	38	5	6.8%	0.3	37

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
能代・山本	38	8.4%	46.1	46	56	6.7%	67.9	52

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



能代・山本

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値47とやや少なく、訪問看護が偏差値35と少なく、通所介護が偏差値41と少ない。通所リハが偏差値36と少なく、訪問入浴が偏差値55とやや多く、短期入所が偏差値94と非常に多く、居宅介護支援が偏差値51と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値42と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値48と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値33と全国平均レベルを大きく下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
能代・山本	32	12.5%	1.8	47	6	8.5%	0.3	35	34	9.1%	1.9	41

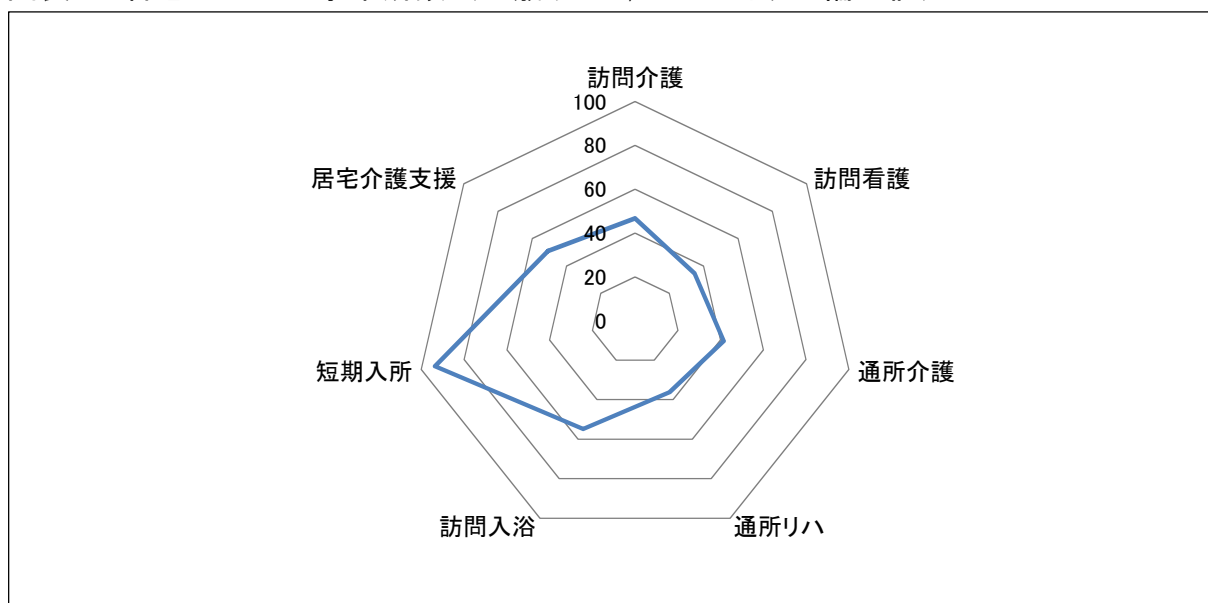
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
能代・山本	3	5.3%	0.2	36	3	8.6%	0.2	55	31	10.3%	1.8	94

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
能代・山本	45	11.0%	2.5	51

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
能代・山本	953	8.9%	53.8	42	216	10.5%	12.2	48	24	8.7%	1.4	33

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



秋田周辺

■ 人口動態と要介護者の現状

秋田周辺は、人口400,911人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は121,698人、高齢化率(65歳以上人口割合)は30%と高い。

要介護数(認定者)は19,542人、要介護認定率は16%と高い。うち要介護3以上は9,481人、要介護者に占める割合は49%と全国平均レベルである。

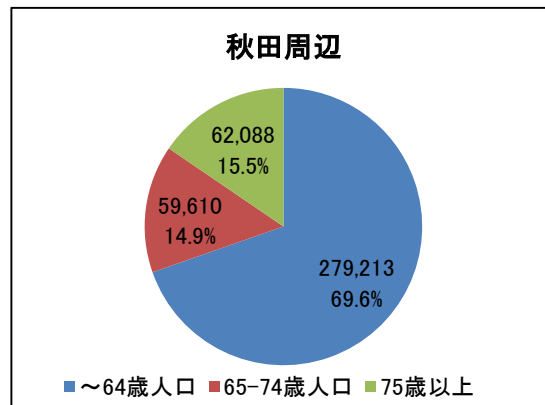
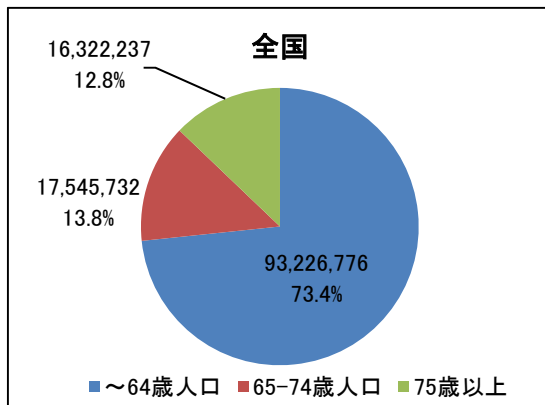
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
秋田周辺	400,911	121,698	62,088	30%	57	59,290	35%	33%

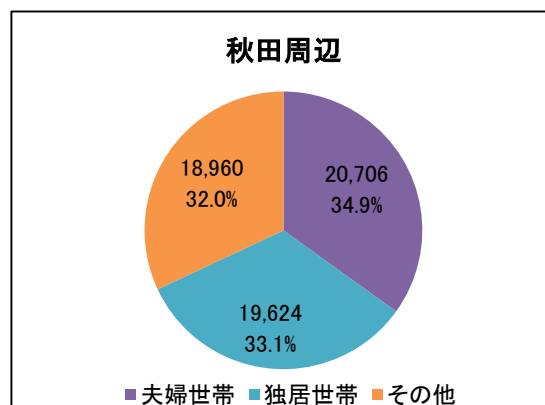
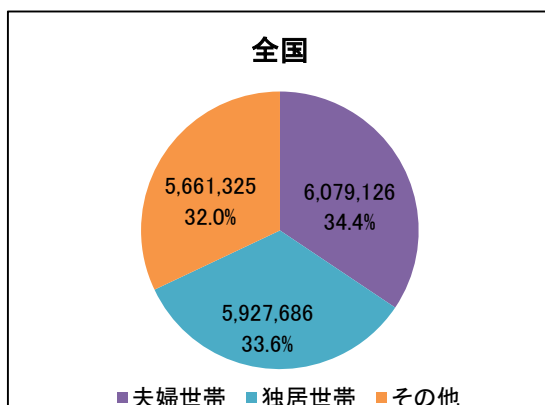
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
秋田周辺	19,542	16%	64	9,481	49%	51

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



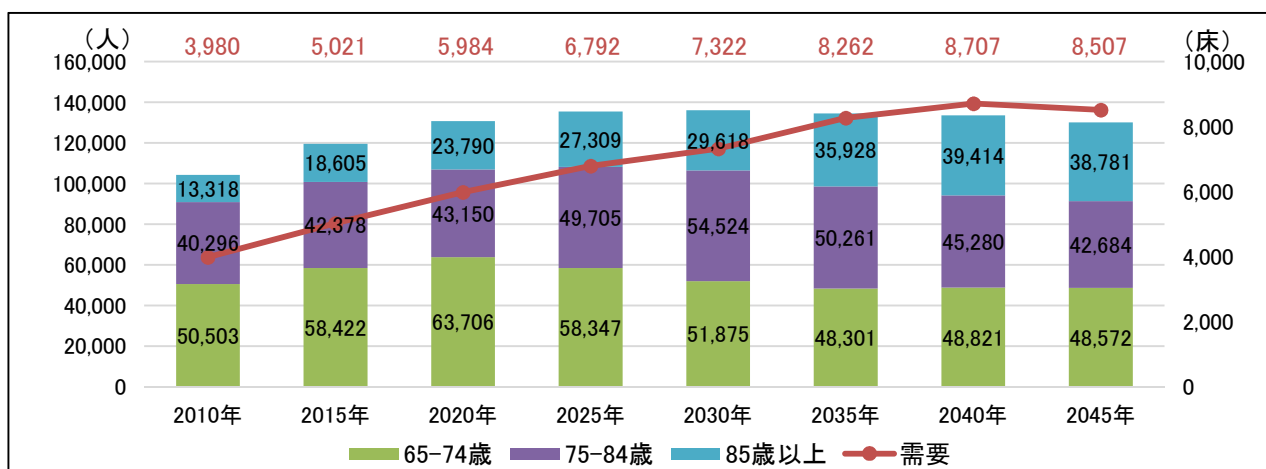
秋田周辺

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、秋田周辺の65歳以上人口のピークは2030年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が60,983(42,378+18,605)人であるが、ピーク時の2035年には86,189人まで増加すると推計され、2015年比41%増加する。

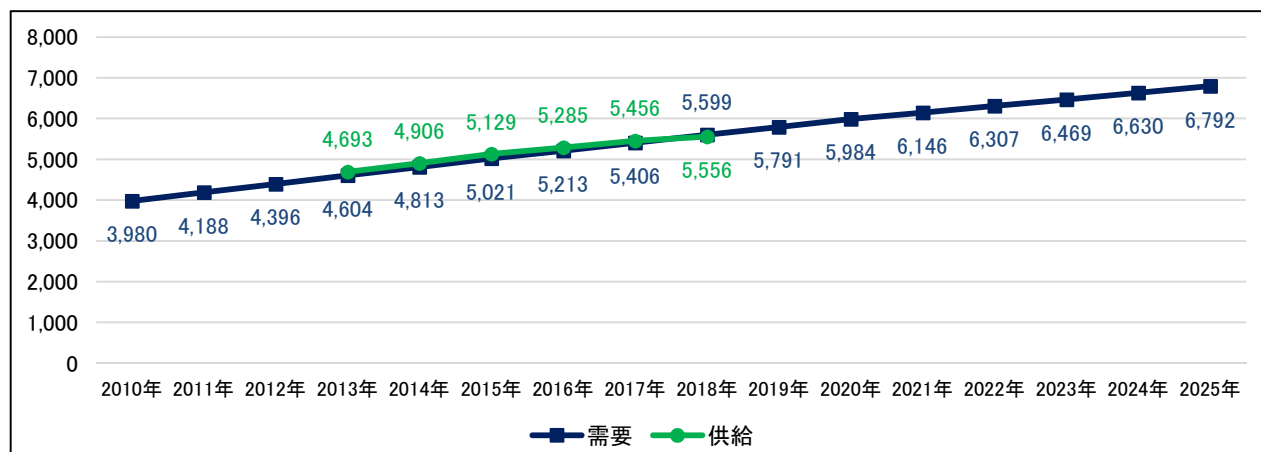
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、秋田周辺の施設需要のピークは2040年の8,707人であり、2015年の5,021人と比べ、73%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、秋田周辺の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要4,813人、供給4,906人と「供給>需要(+2%)」である。2018年は需要5,599人、供給5,556人と「供給<需要(-1%)」である。秋田周辺の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、需要と供給が拮抗する状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



秋田周辺

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,543人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,916床(偏差値51)、高齢者住宅等が1,627床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム43、軽費ホーム52、グループホーム45、サ高住(特定施設)86である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値66と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値47と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
秋田周辺	5,543	33.3%	89	49	3,916	32.1%	63	51	1,627	36.6%	26	47

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
秋田周辺	2,008	38.7%	32	67	1,908	29.0%	31	45	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
秋田周辺	444	53.8%	7.2	43	120	33.4%	1.9	52	576	22.5%	9.3	45

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

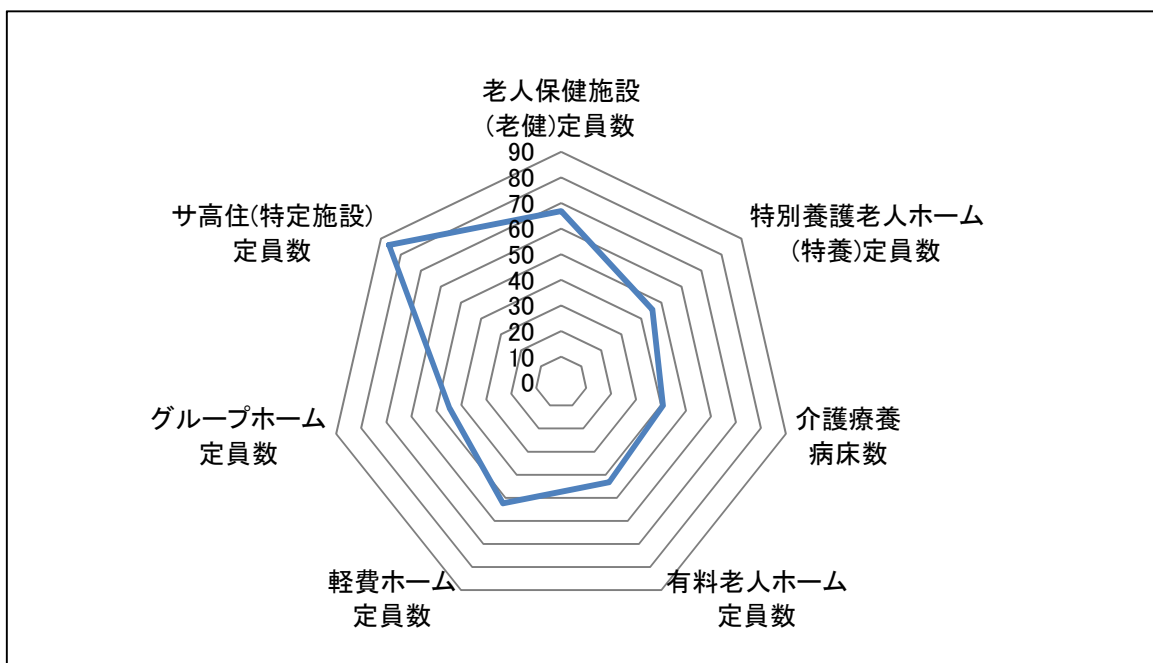
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
秋田周辺	487	69.1%	7.8	86	209,785		12.9	(6.8)
					248	23.2%	4.0	37

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

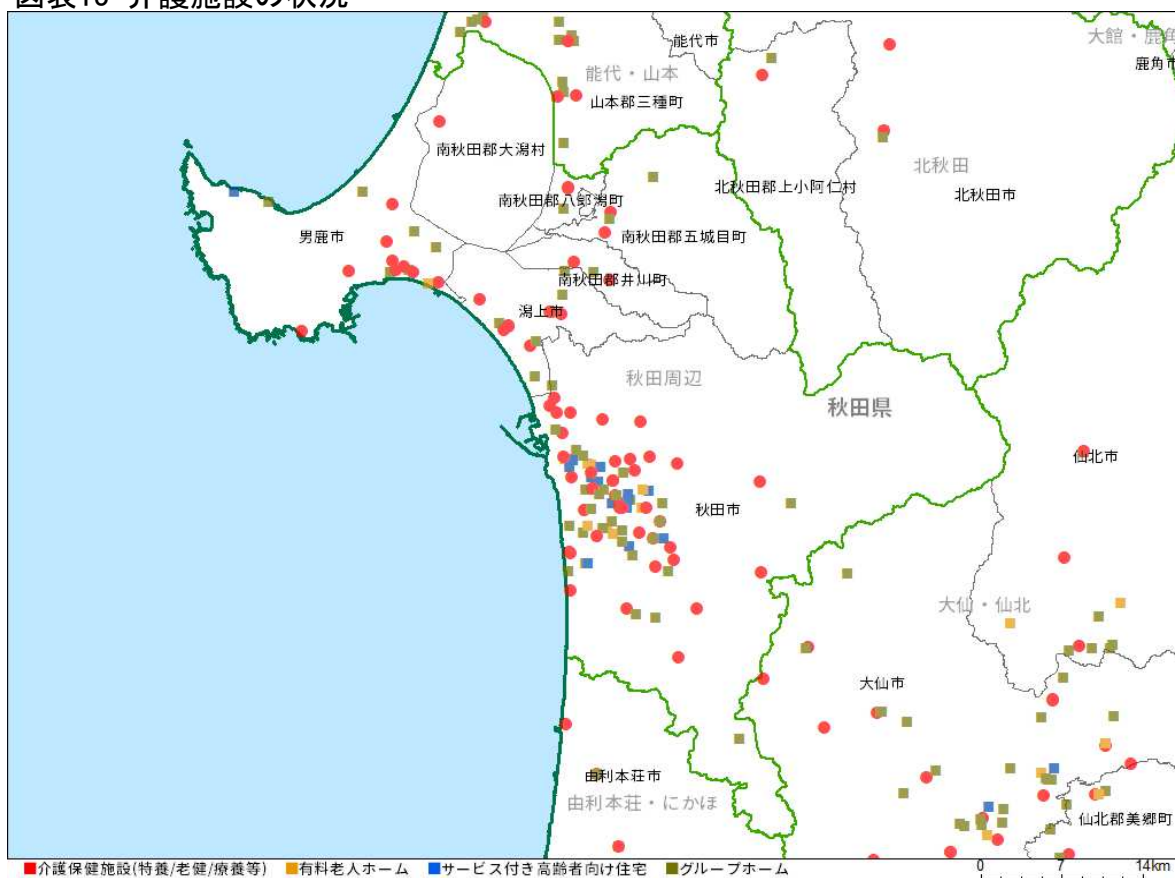
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
秋田周辺	5,988	33.5%	96	66	419	31.5%	6.7	47

秋田周辺

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



秋田周辺

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値43と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値47とやや少ない。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値51と全国平均レベルである。

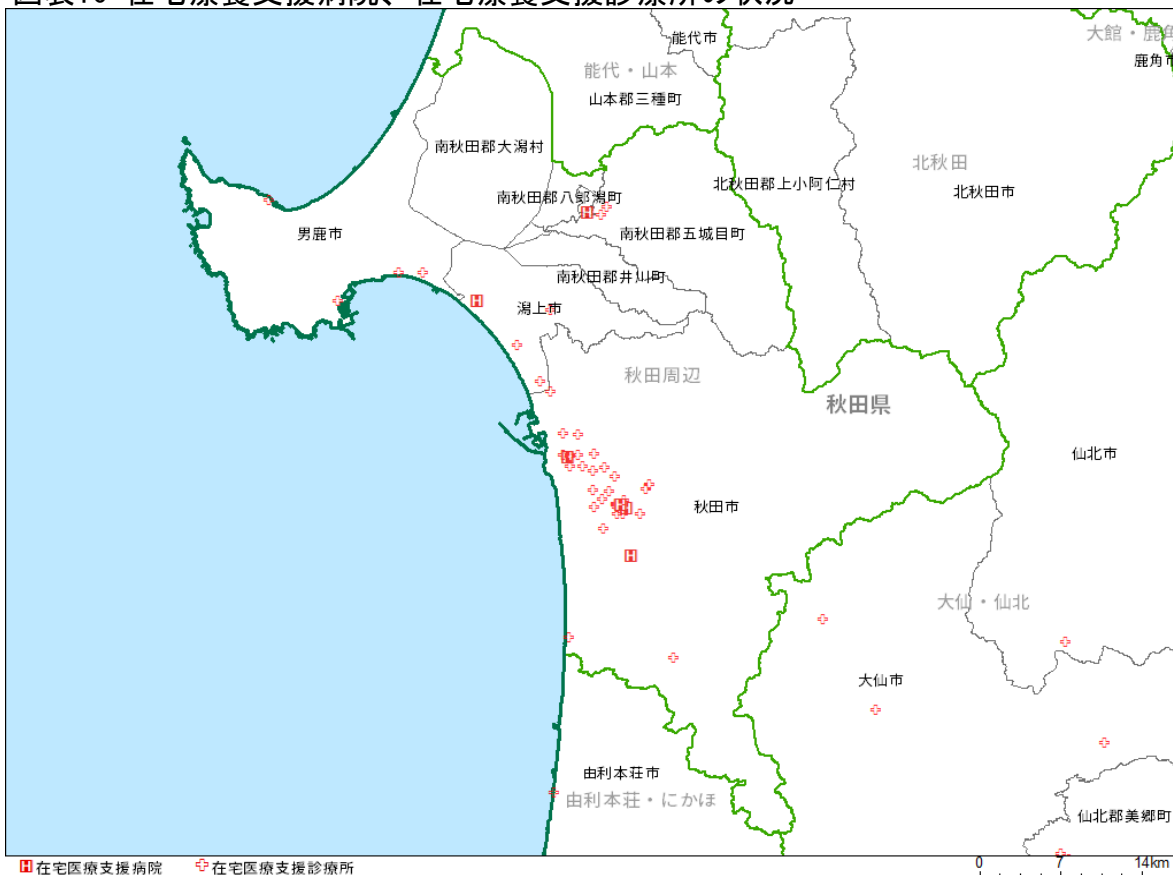
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
秋田周辺	6	66.7%	0.1	52	36	49.3%	0.6	43

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
秋田周辺	193	42.5%	48.1	47	254	30.4%	63.4	51

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



秋田周辺

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値43と少なく、訪問看護が偏差値39と少なく、通所介護が偏差値44と少ない。通所リハが偏差値47とやや少なく、訪問入浴が偏差値44と少なく、短期入所が偏差値97と非常に多く、居宅介護支援が偏差値55とやや多い。訪問介護利用者数は偏差値48と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値48と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値38と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
秋田周辺	94	36.6%	1.5	43	27	38.0%	0.4	39	133	35.6%	2.1	44

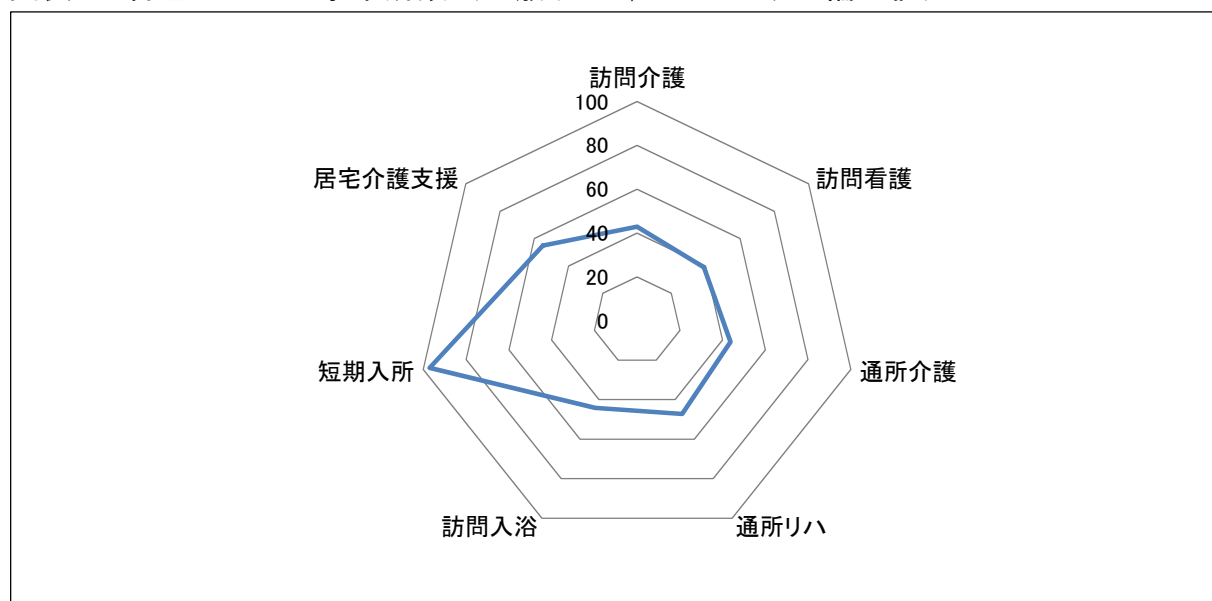
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
秋田周辺	25	43.9%	0.4	47	4	11.4%	0.1	44	114	37.9%	1.8	97

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
秋田周辺	172	42.1%	2.8	55

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数 (在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数 (訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
秋田周辺	4,344	40.6%	70.0	48	765	37.1%	12.3	48	117	42.1%	1.9	38

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



由利本荘・にかほ

■ 人口動態と要介護者の現状

由利本荘・にかほは、人口105,251人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は35,292人、高齢化率(65歳以上人口割合)は34%と高い。

要介護数(認定者)は6,049人、要介護認定率は17%と非常に高い。うち要介護3以上は3,196人、要介護者数に占める割合は53%と高い。

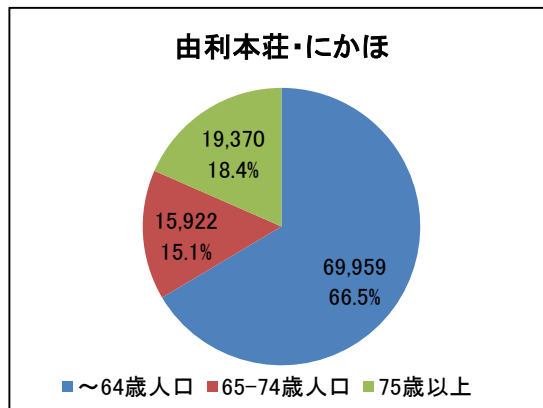
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
由利本荘・にかほ	105,251	35,292	19,370	34%	64	13,438	31%	30%

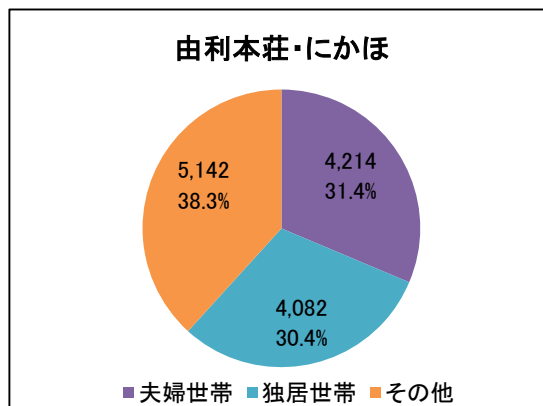
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
由利本荘・にかほ	6,049	17%	71	3,196	53%	64

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



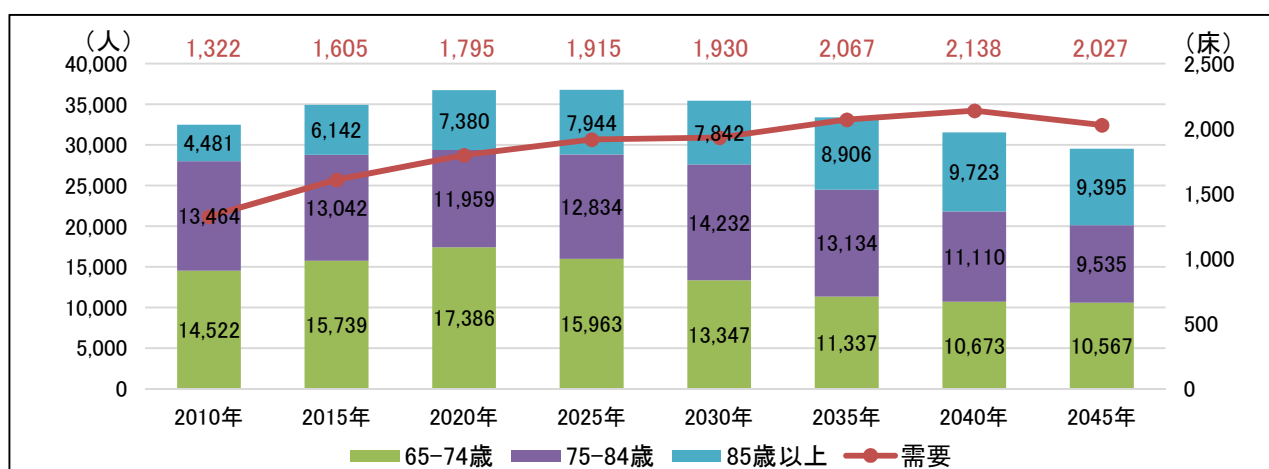
由利本荘・にかほ

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、由利本荘・にかほの65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が19,184(13,042+6,142)人であるが、ピーク時の2030年には22,074人まで増加すると推計され、2015年比15%増加する。

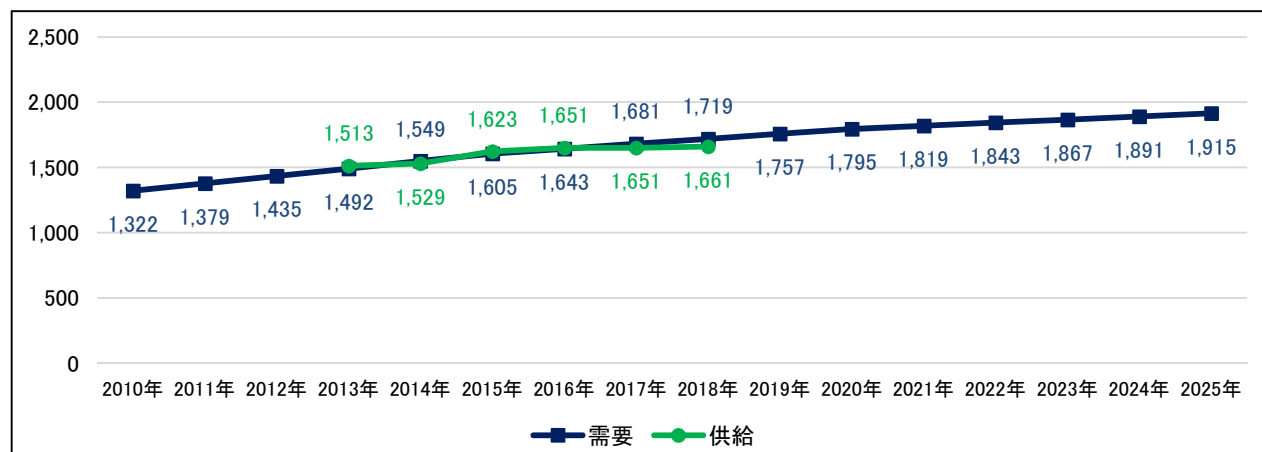
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、由利本荘・にかほの施設需要のピークは2040年の2,138人であり、2015年の1,605人と比べ、33%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、由利本荘・にかほの高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,549人、供給1,529人と「供給<需要(-1%)」である。2018年は需要1,719人、供給1,661人と「供給<需要(-3%)」である。由利本荘・にかほの高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、需要と供給が拮抗する状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



由利本荘・にかほ

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,660人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,413床(偏差値59)、高齢者住宅等が247床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム51、グループホーム45、サ高住(特定施設)53である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値67と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値47と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
由利本荘・にかほ	1,660	10.0%	86	47	1,413	11.6%	73	59	247	5.6%	13	37

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
由利本荘・にかほ	500	9.6%	26	56	913	13.9%	47	62	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
由利本荘・にかほ	0	0.0%	0	37	30	8.4%	1.5	51	180	7.0%	9.3	45

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

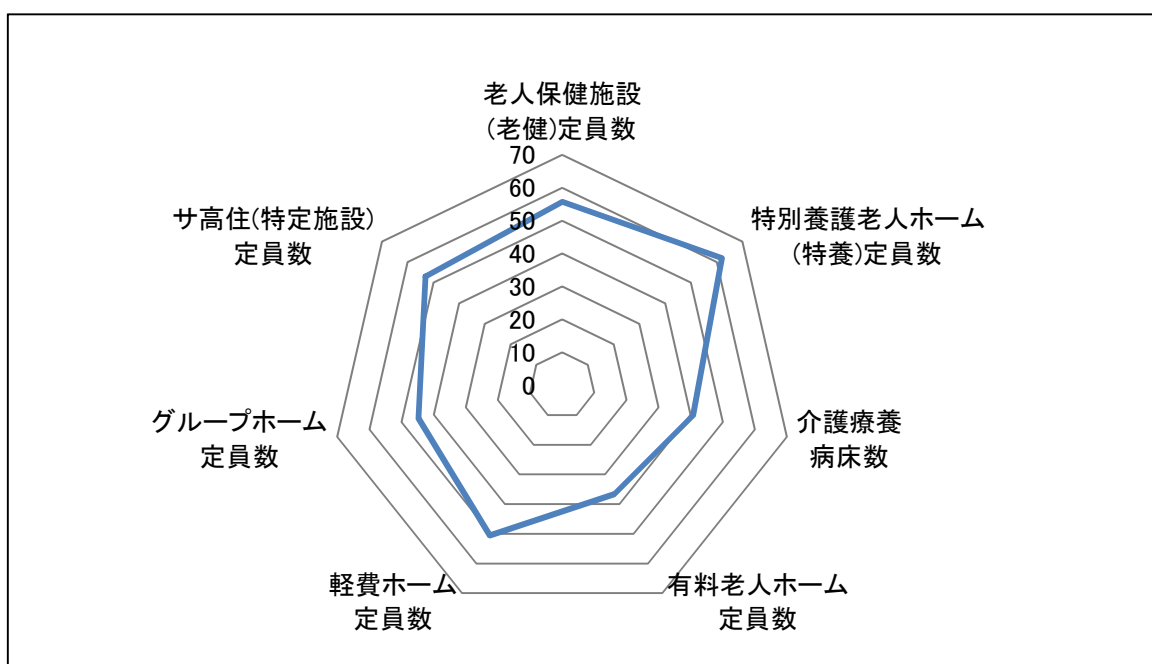
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
					サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
由利本荘・にかほ	37	5.2%	1.9	53	71	6.6%	3.7	36

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

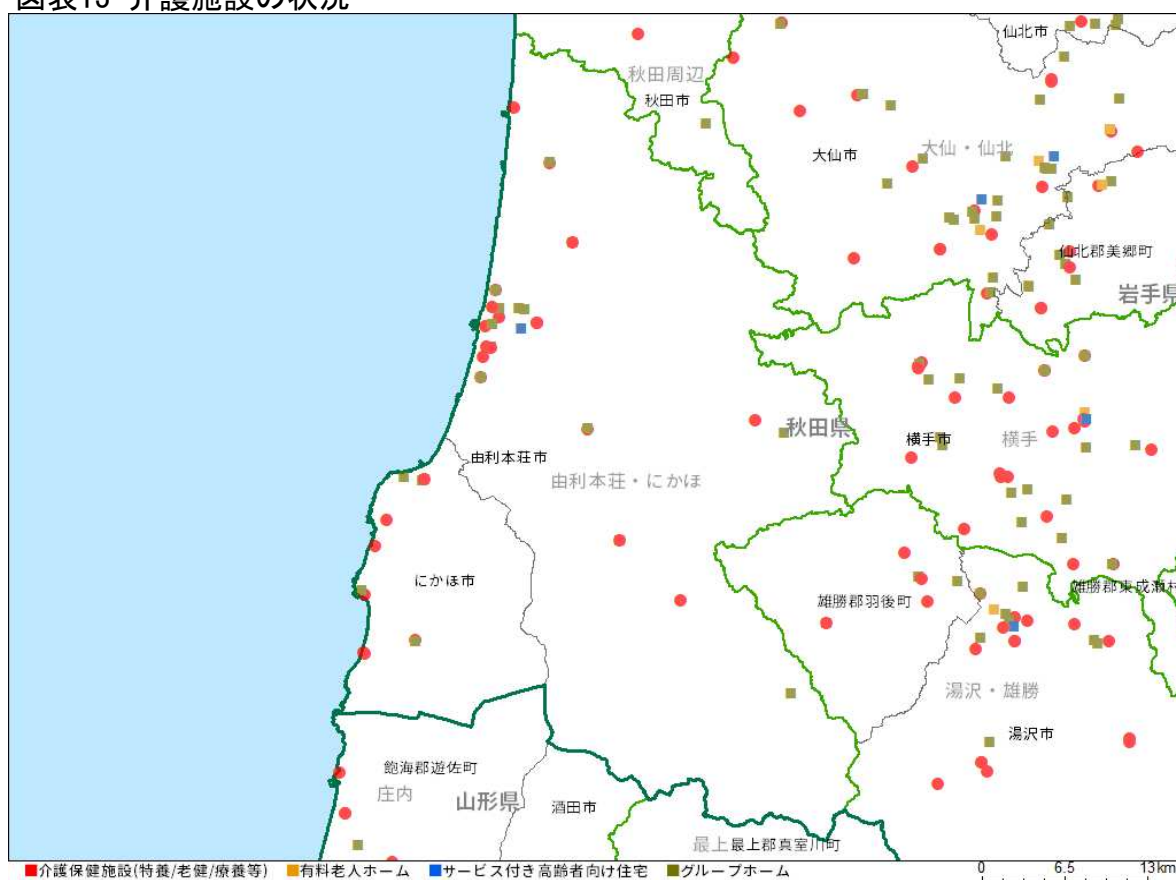
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
由利本荘・にかほ	1,886	10.5%	97	67	132	9.9%	6.8	47

由利本荘・にかほ

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



由利本荘・にかほ

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値36と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値360である。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値55とやや多い。

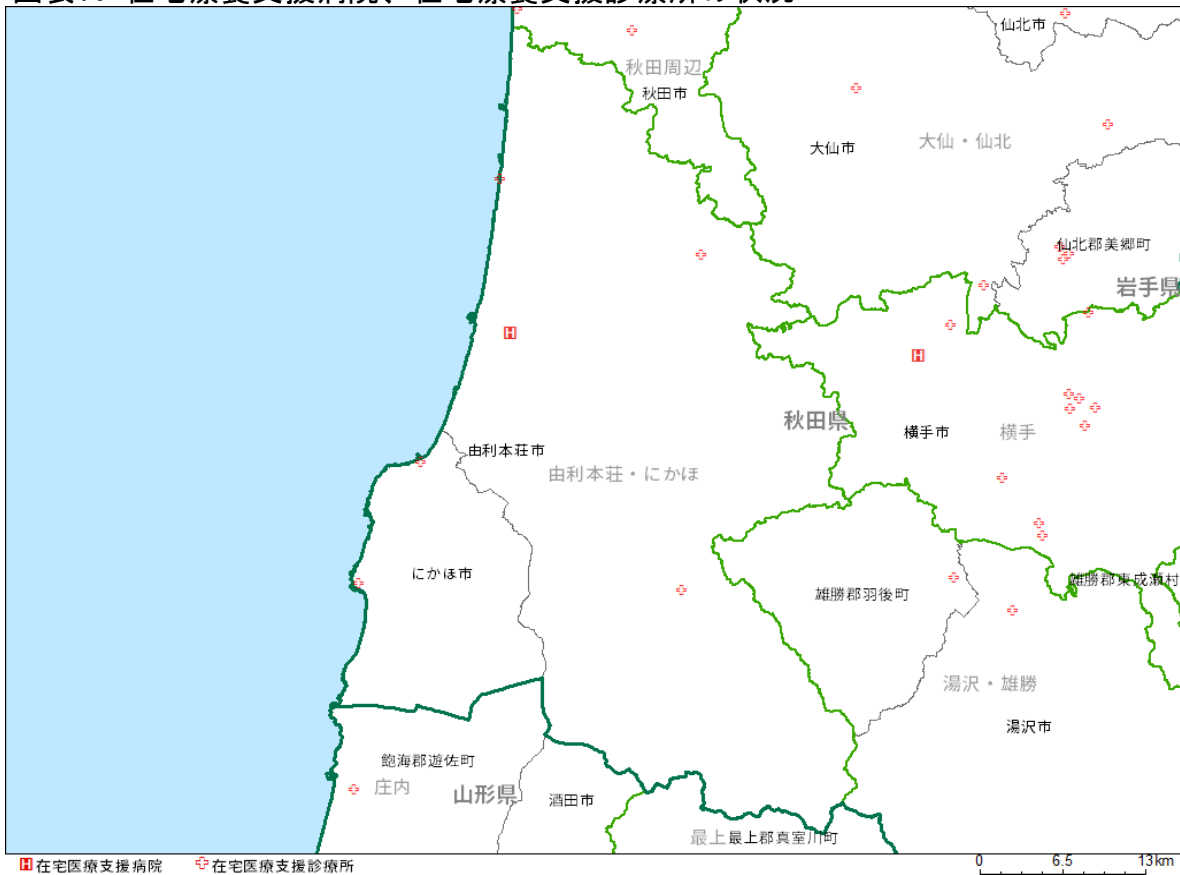
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
由利本荘・にかほ	1	11.1%	0.1	45	5	6.8%	0.3	36

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
由利本荘・にかほ	0	0.0%	0	36	94	11.3%	89.3	55

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



由利本荘・にかほ

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値37と少なく、訪問看護が偏差値33と非常に少なく、通所介護が偏差値46とやや少ない。通所リハが偏差値43と少なく、訪問入浴が偏差値69と非常に多く、短期入所が偏差値98と非常に多く、居宅介護支援が偏差値43と少ない。訪問介護利用者数は偏差値38と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値41と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値30と全国平均レベルを大きく下回る。

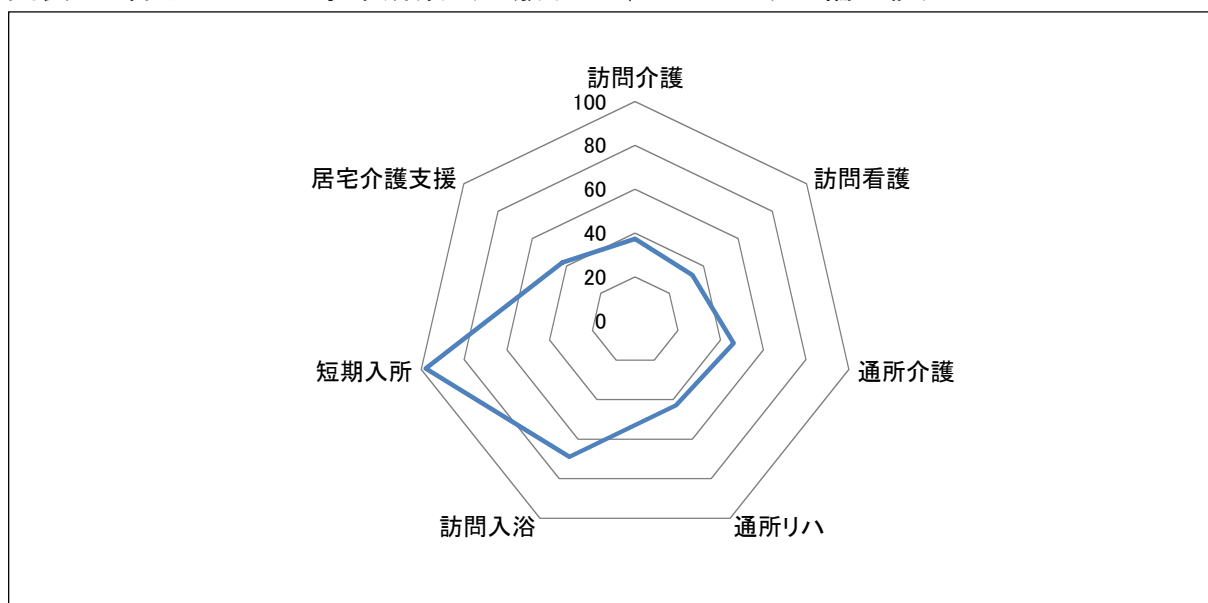
図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
由利本荘・にかほ	21	8.2%	1.1	37	6	8.5%	0.3	33	46	12.3%	2.4	46
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
由利本荘・にかほ	6	10.5%	0.3	43	6	17.1%	0.3	69	36	12.0%	1.9	98
二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差								
全国	40,664		2.5	(0.6)								
由利本荘・にかほ	40	9.8%	2.1	43								

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
由利本荘・にかほ	820	7.7%	42.3	38	160	7.8%	8.3	41	19	6.8%	1.0	30

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



大仙・仙北

■ 人口動態と要介護者の現状

大仙・仙北は、人口130,585人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は46,416人、高齢化率(65歳以上人口割合)は36%と非常に高い。

要介護数(認定者)は7,917人、要介護認定率は17%と非常に高い。うち要介護3以上は4,091人、要介護者数に占める割合は52%と高い。

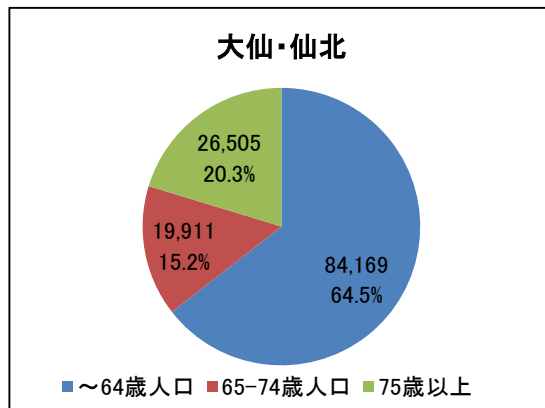
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
大仙・仙北	130,585	46,416	26,505	36%	68	16,709	31%	31%

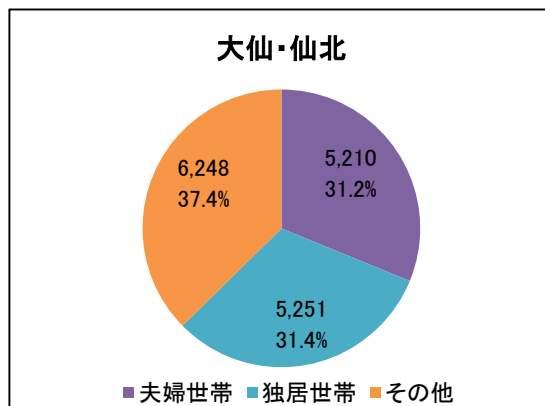
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
大仙・仙北	7,917	17%	70	4,091	52%	60

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



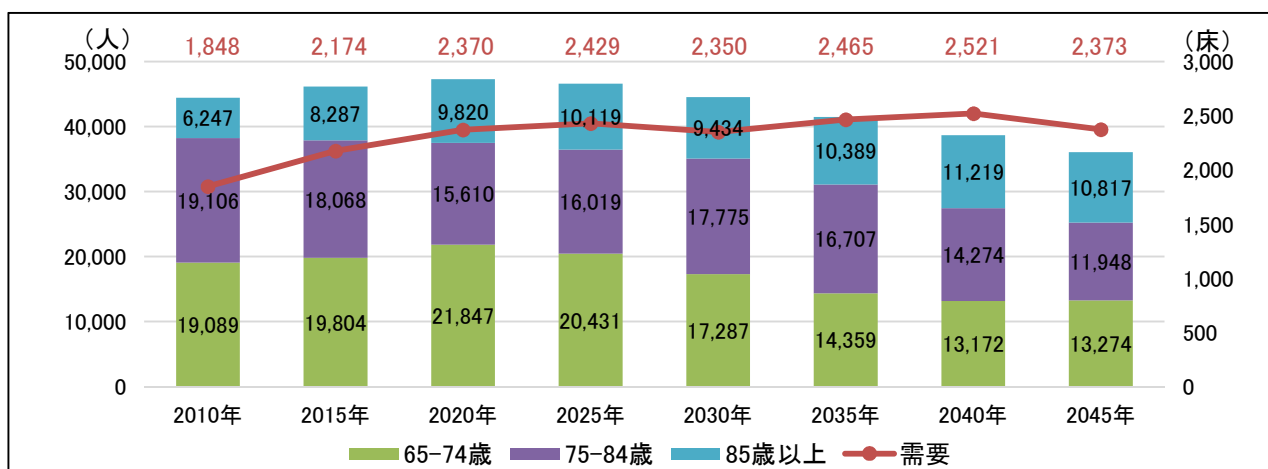
大仙・仙北

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、大仙・仙北の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が26,355(18,068+8,287)人であるが、ピーク時の2030年には27,209人まで増加すると推計され、2015年比3%増加する。

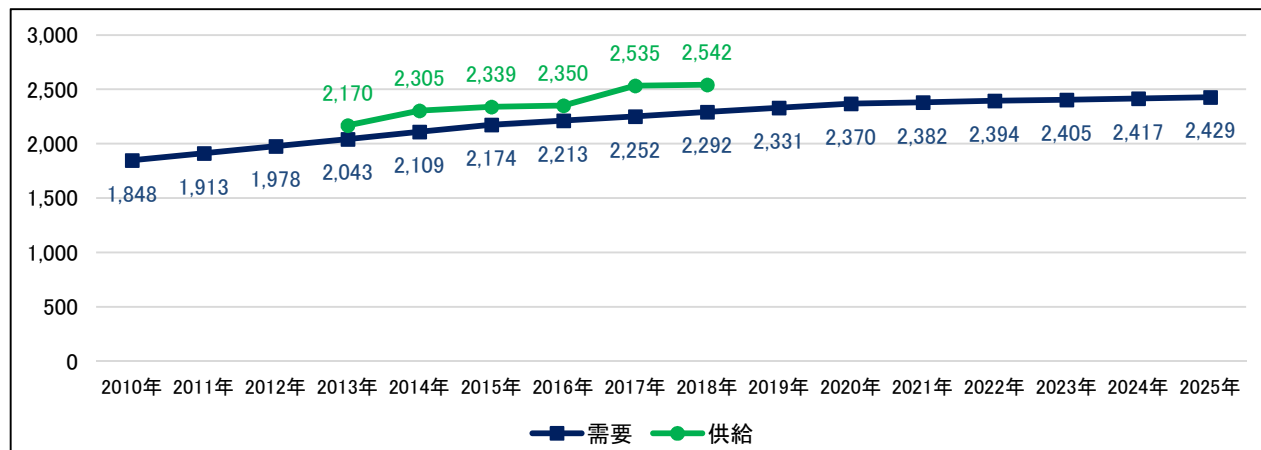
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、大仙・仙北の施設需要のピークは2040年の2,521人であり、2015年の2,174人と比べ、16%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、大仙・仙北の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要2,109人、供給2,305人と「供給>需要(+9%)」である。2018年は需要2,292人、供給2,542人と「供給>需要(+11%)」である。大仙・仙北の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、やや余裕がある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



大仙・仙北

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,491人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,687床(偏差値52)、高齢者住宅等が804床(偏差値51)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム44、軽費ホーム49、グループホーム61、サ高住(特定施設)59である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値69と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値44と全国平均レベルを下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
大仙・仙北	2,491	15.0%	94	52	1,687	13.8%	64	52	804	18.1%	30	51

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
大仙・仙北	674	13.0%	25	55	1,013	15.4%	38	53	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
大仙・仙北	201	24.4%	7.6	44	30	8.4%	1.1	49	492	19.2%	18.6	61

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

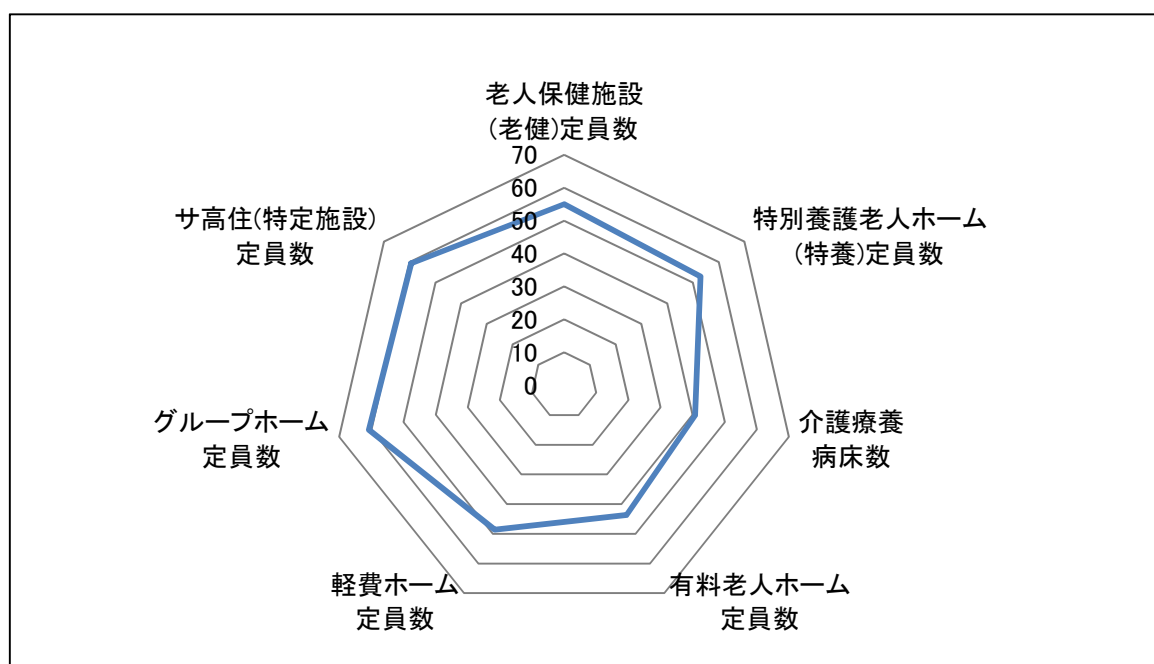
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
大仙・仙北	81	11.5%	3.1	59	209,785		12.9	(6.8)
					105	9.8%	4.0	37

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

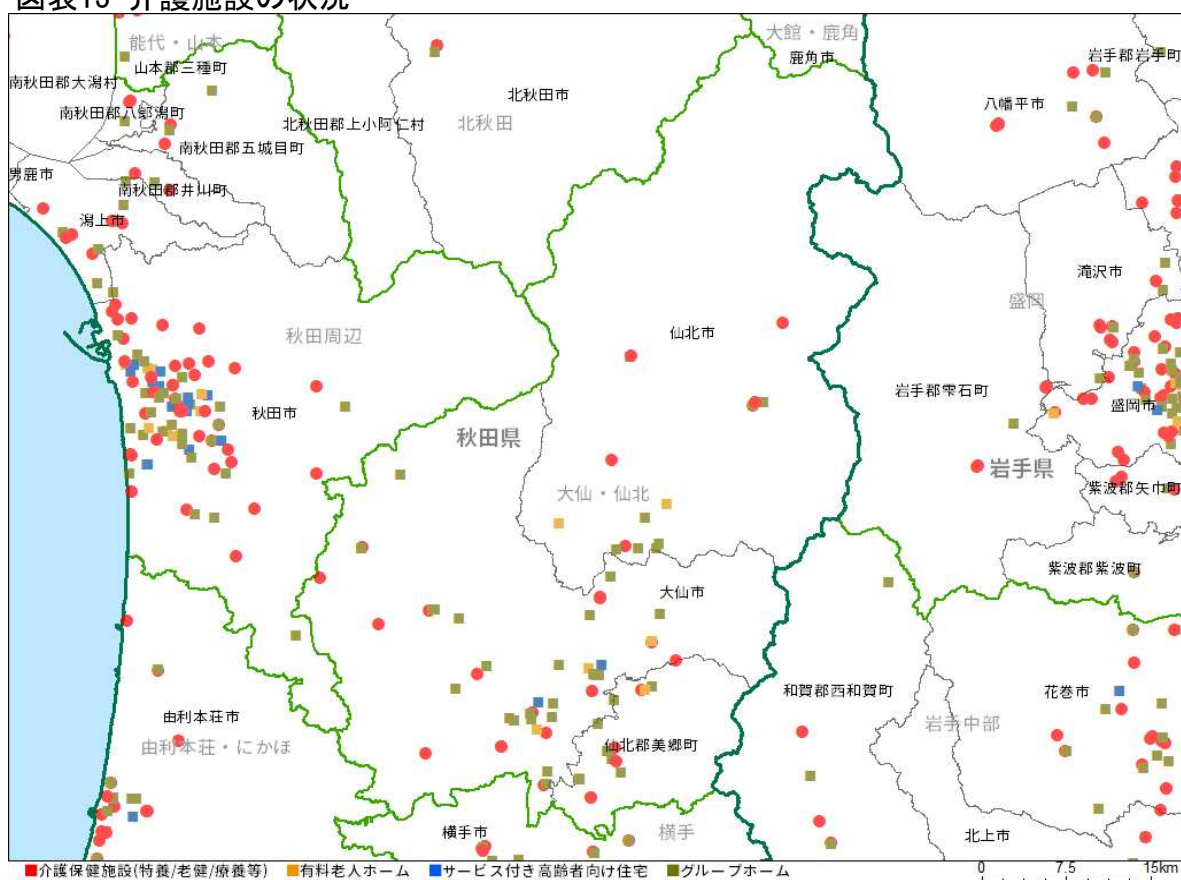
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
大仙・仙北	2,638	14.8%	100	69	165	12.4%	6.2	44

大仙・仙北

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



大仙・仙北

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院はなし(偏差値38)である。在宅療養支援診療所数は偏差値38と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値49と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値52と全国平均レベルである。

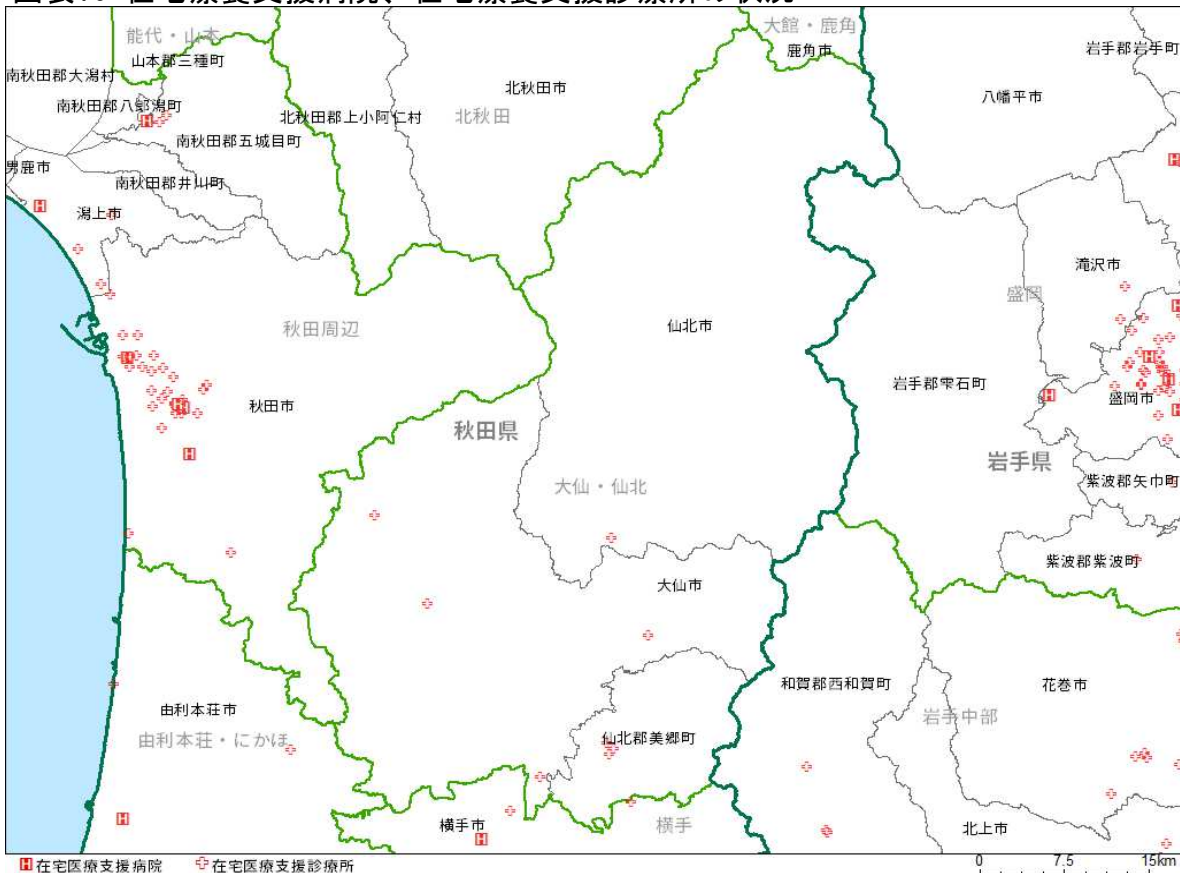
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
大仙・仙北	0	0.0%	0	38	9	12.3%	0.3	38

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
大仙・仙北	78	17.2%	59.7	49	89	10.7%	68.2	52

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



大仙・仙北

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値38と少なく、訪問看護が偏差値33と非常に少なく、通所介護が偏差値43と少ない。通所リハが偏差値42と少なく、訪問入浴が偏差値61と多く、短期入所が偏差値89と非常に多く、居宅介護支援が偏差値34と非常に少ない。訪問介護利用者数は偏差値39と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値45と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値30と全国平均レベルを大きく下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
大仙・仙北	31	12.1%	1.2	38	8	11.3%	0.3	33	56	15.0%	2.1	43

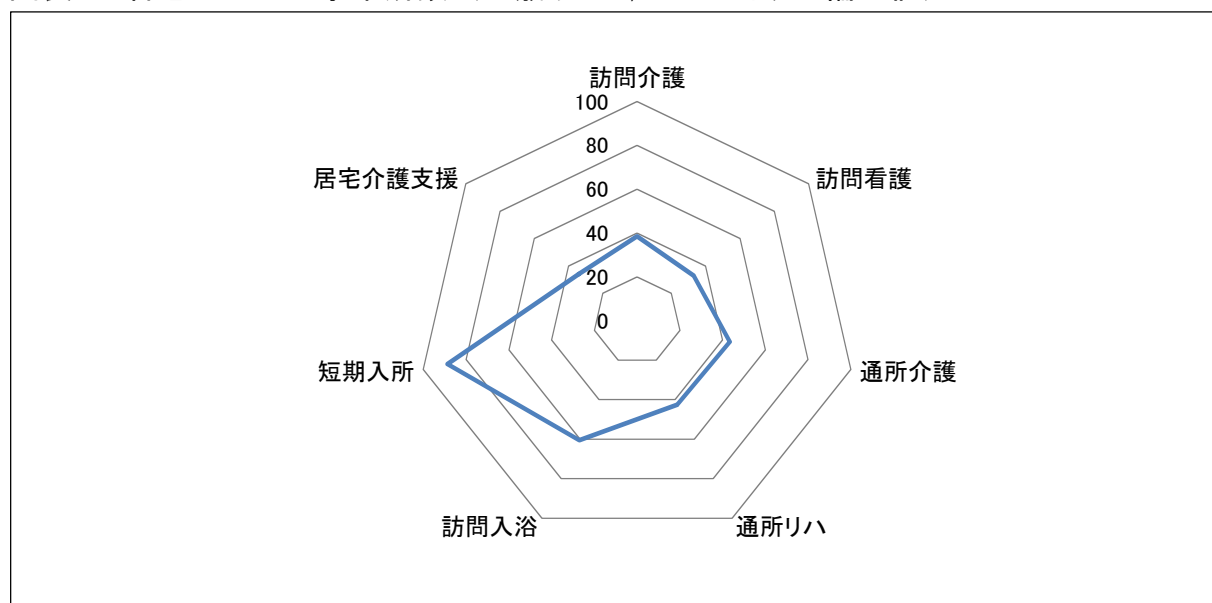
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
大仙・仙北	8	14.0%	0.3	42	6	17.1%	0.2	61	43	14.3%	1.6	89

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
大仙・仙北	42	10.3%	1.6	34

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数 (在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数 (訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
大仙・仙北	1,179	11.0%	44.5	39	287	13.9%	10.8	45	28	10.0%	1.1	30

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



横手

■ 人口動態と要介護者の現状

横手は、人口92,197人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は32,457人、高齢化率(65歳以上人口割合)は35%と非常に高い。

要介護数(認定者)は5,737人、要介護認定率は18%と非常に高い。うち要介護3以上は3,080人、要介護者数に占める割合は54%と非常に高い。

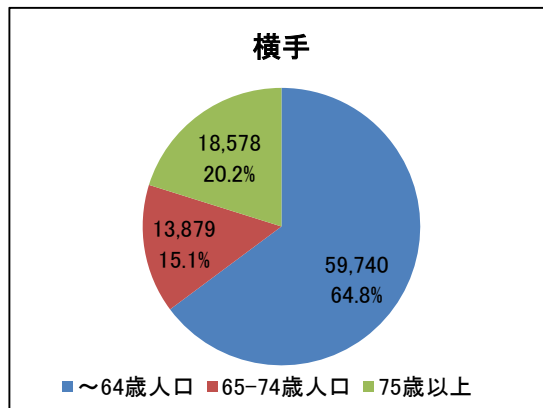
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
横手	92,197	32,457	18,578	35%	67	11,501	34%	28%

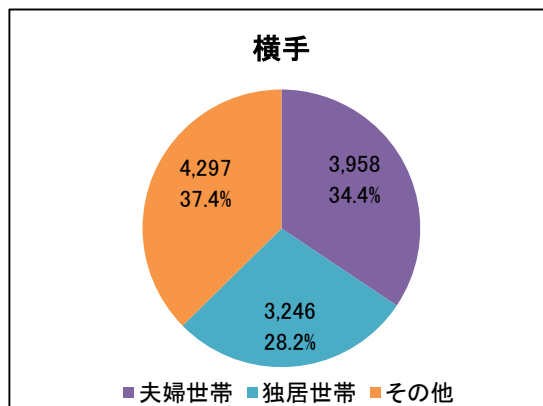
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
横手	5,737	18%	74	3,080	54%	66

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



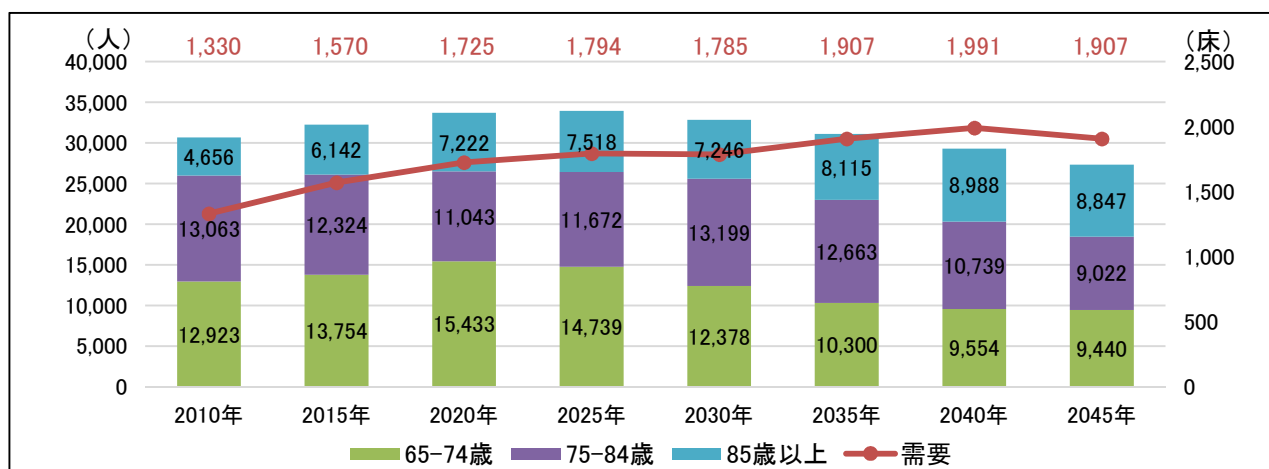
横手

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、横手の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が18,466(12,324+6,142)人であるが、ピーク時の2035年には20,778人まで増加すると推計され、2015年比13%増加する。

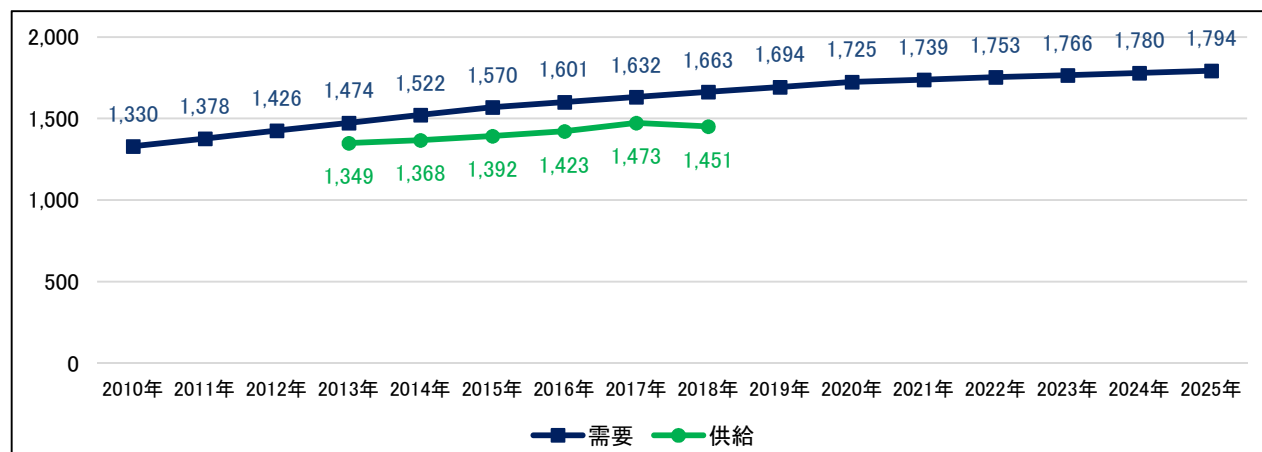
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、横手の施設需要のピークは2040年の1,991人であり、2015年の1,570人と比べ、27%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、横手の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,522人、供給1,368人と「供給<需要(-10%)」である。2018年は需要1,663人、供給1,451人と「供給<需要(-13%)」である。横手の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、不足ぎみの状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



横手

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,179人(75歳以上1,000人当たりの偏差値32)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が833床(偏差値37)、高齢者住宅等が346床(偏差値41)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム35、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム39、軽費ホーム56、グループホーム52、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値59と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値43と全国平均レベルを下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
横手	1,179	7.1%	63	32	833	6.8%	45	37	346	7.8%	19	41

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
横手	450	8.7%	24	53	383	5.8%	21	35	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
横手	44	5.3%	2.4	39	50	13.9%	2.7	56	252	9.8%	13.6	52

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

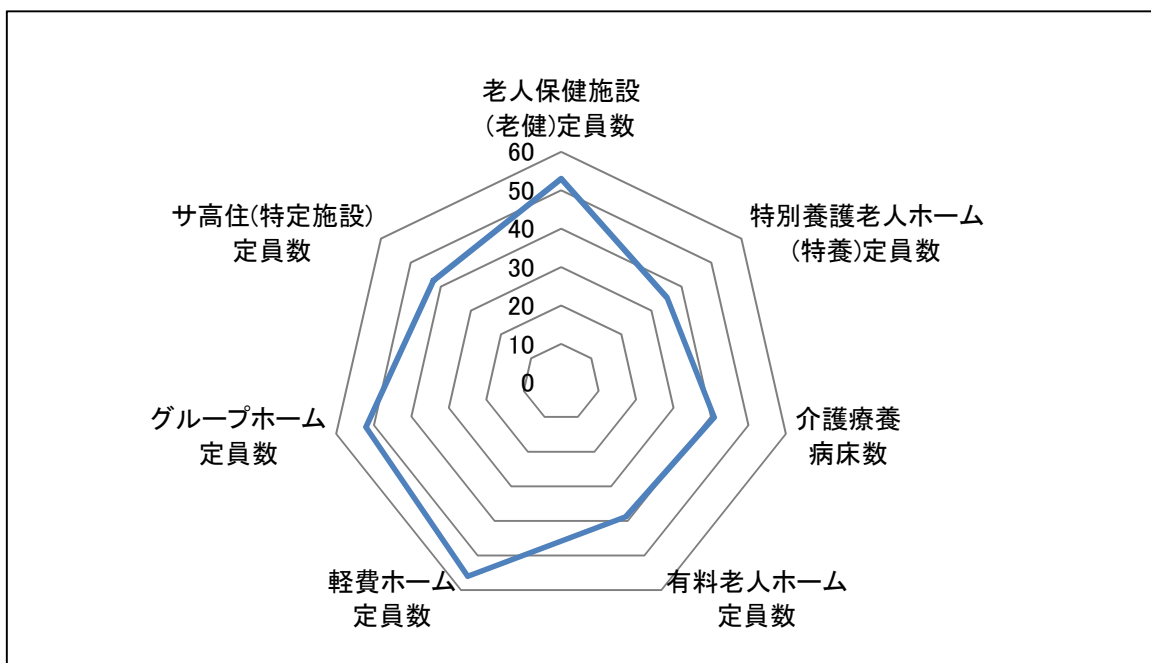
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
横手	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					164	15.3%	8.8	44

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

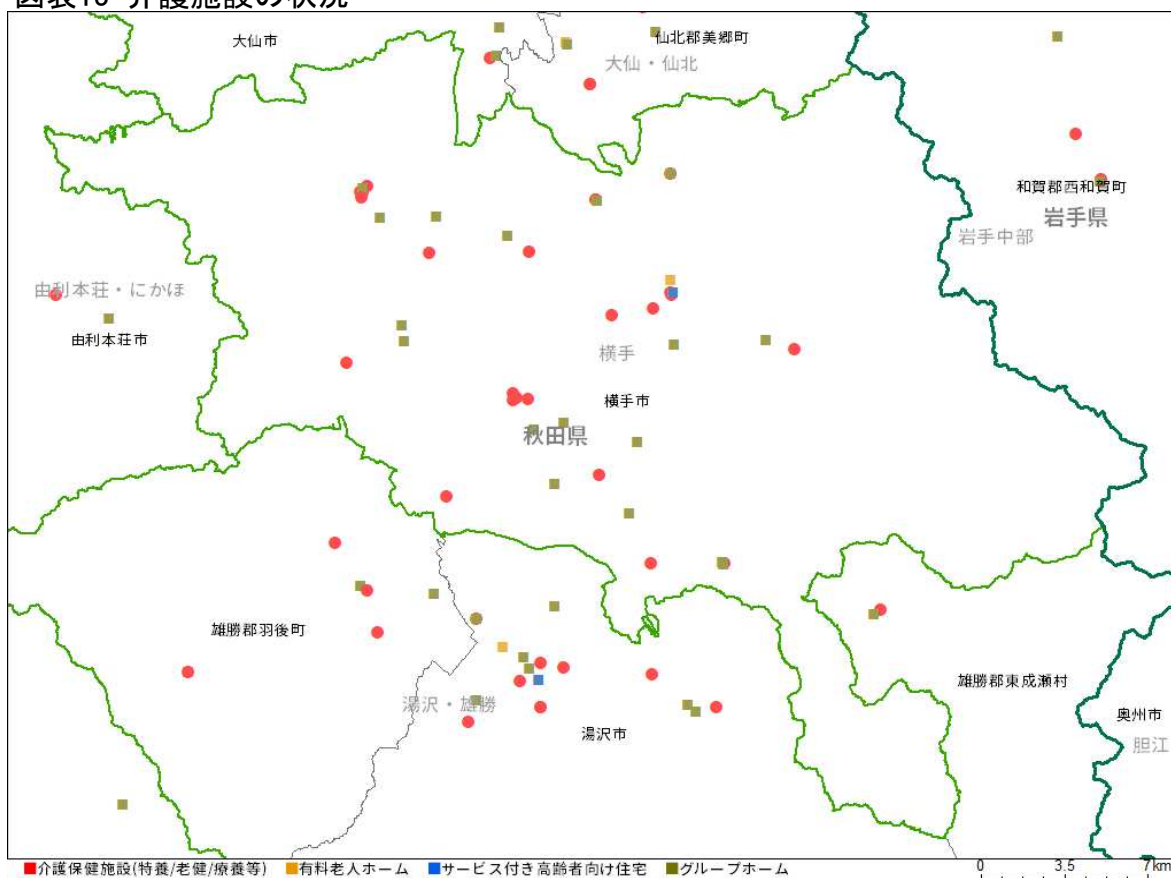
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
横手	1,643	9.2%	88	59	112	8.4%	6.0	43

横手

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



横手

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値42と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値360である。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値61と多い。

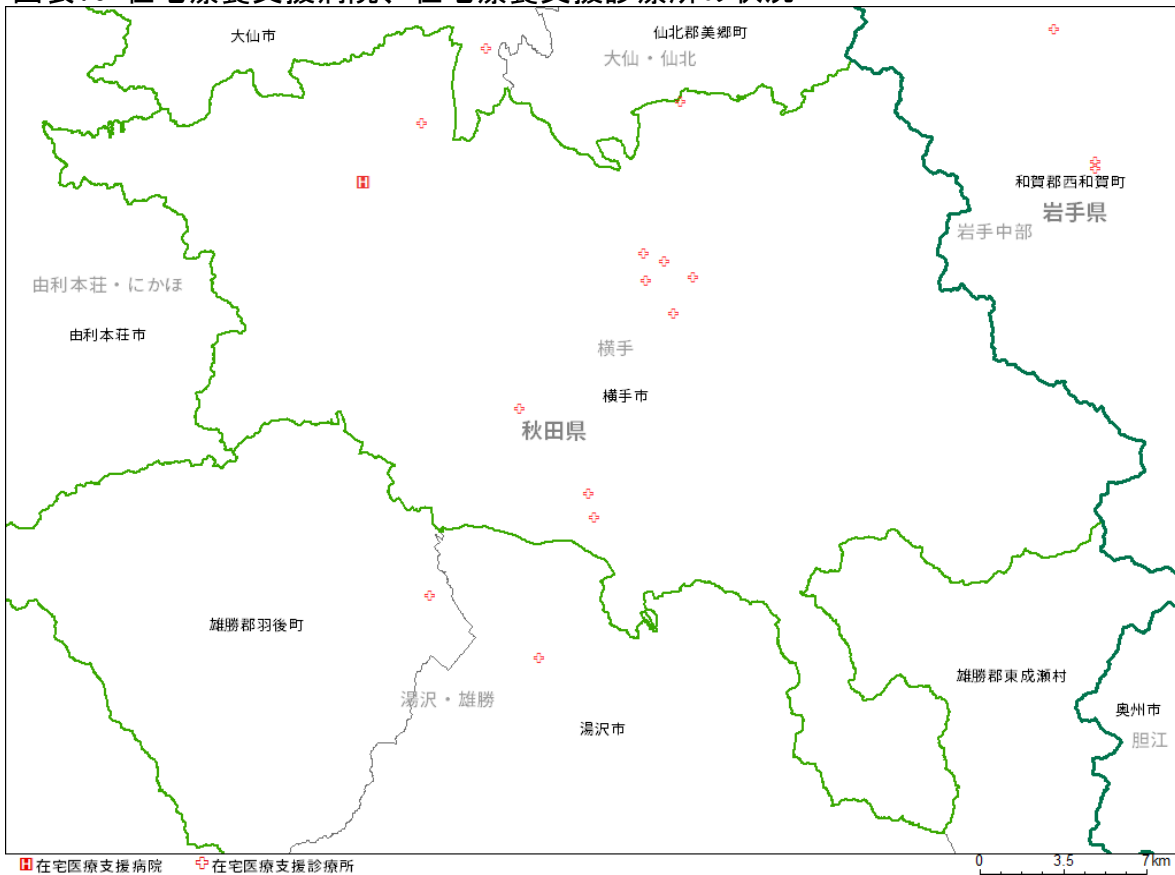
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
横手	1	11.1%	0.1	46	10	13.7%	0.5	42

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
横手	0	0.0%	0	36	113	13.5%	122.6	61

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



横手

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値41と少なく、訪問看護が偏差値41と少なく、通所介護が偏差値41と少ない。通所リハが偏差値38と少なく、訪問入浴が偏差値59と多く、短期入所が偏差値80と非常に多く、居宅介護支援が偏差値44と少ない。訪問介護利用者数は偏差値47とやや少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値48と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値37と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
横手	25	9.7%	1.3	41	9	12.7%	0.5	41	34	9.1%	1.8	41

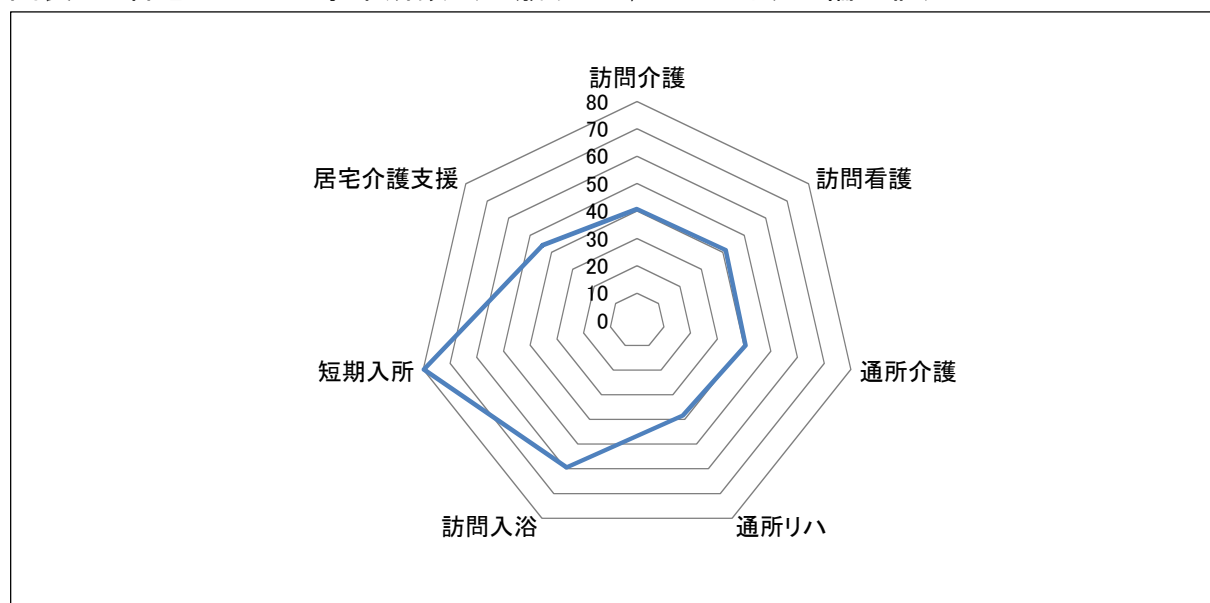
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
横手	4	7.0%	0.2	38	4	11.4%	0.2	59	26	8.6%	1.4	80

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
横手	40	9.8%	2.2	44

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
横手	1,242	11.6%	66.9	47	235	11.4%	12.6	48	33	11.9%	1.8	37

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



湯沢・雄勝

■ 人口動態と要介護者の現状

湯沢・雄勝は、人口64,542人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は23,023人、高齢化率(65歳以上人口割合)は36%と非常に高い。

要介護数(認定者)は3,475人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は1,668人、要介護者数に占める割合は48%と全国平均レベルである。

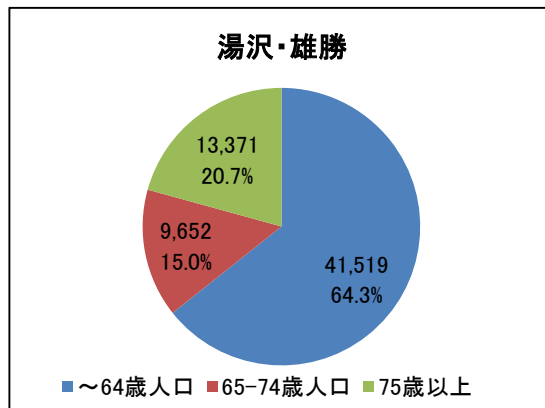
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
湯沢・雄勝	64,542	23,023	13,371	36%	68	8,559	31%	30%

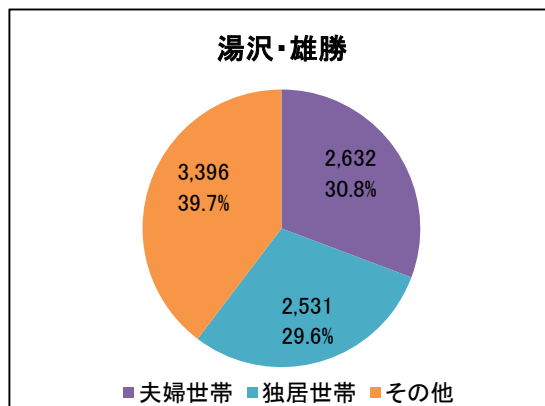
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
湯沢・雄勝	3,475	15%	59	1,668	48%	49

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



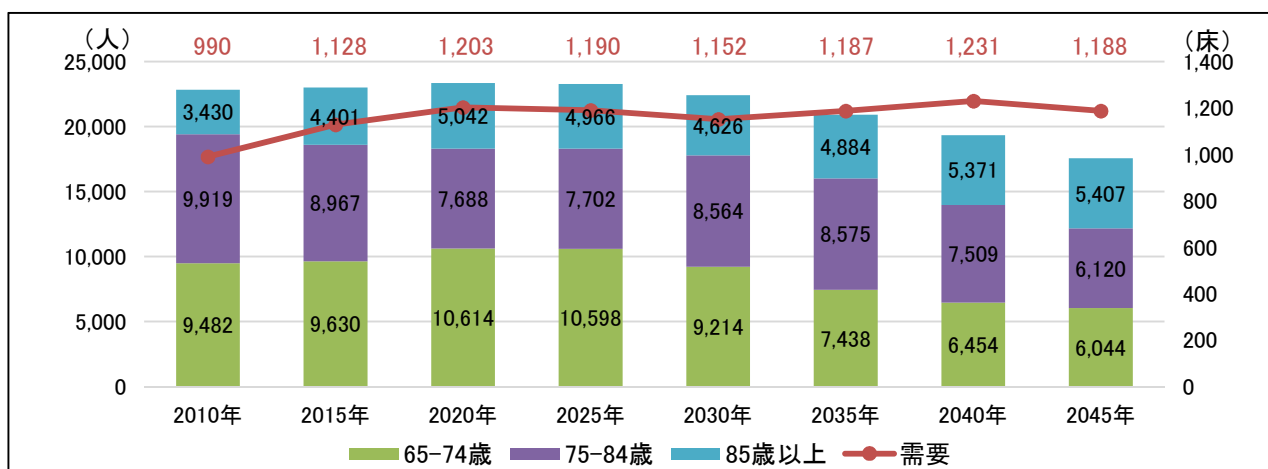
湯沢・雄勝

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、湯沢・雄勝の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2045年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が13,368(8,967+4,401)人であるが、ピーク時の2035年には13,459人まで増加すると推計され、2015年比1%増加する。

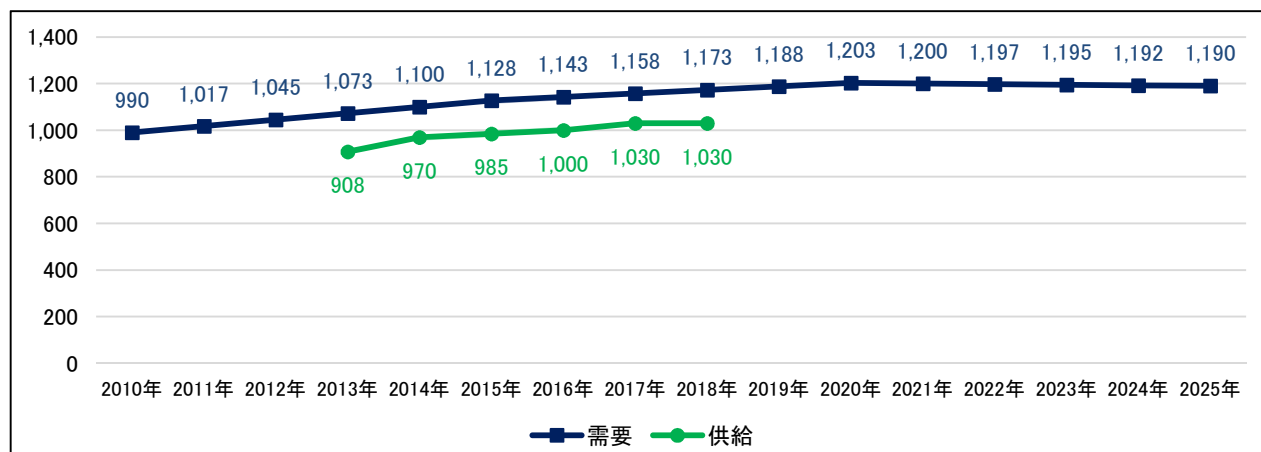
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、湯沢・雄勝の施設需要のピークは2040年の1,231人であり、2015年の1,128人と比べ、9%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、湯沢・雄勝の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,100人、供給970人と「供給<需要(-12%)」である。2018年は需要1,173人、供給1,030人と「供給<需要(-12%)」である。湯沢・雄勝の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、不足ぎみの状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



湯沢・雄勝

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,101人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が916床(偏差値56)、高齢者住宅等が185床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住(特定施設)55である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値54と全国平均レベルをやや上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値52と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
湯沢・雄勝	1,101	6.6%	82	44	916	7.5%	69	56	185	4.2%	14	37

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
湯沢・雄勝	394	7.6%	29	62	512	7.8%	38	53	10	2.3%	0.7	43

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
湯沢・雄勝	20	2.4%	1.5	38	0	0.0%	0	43	135	5.3%	10.1	46

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

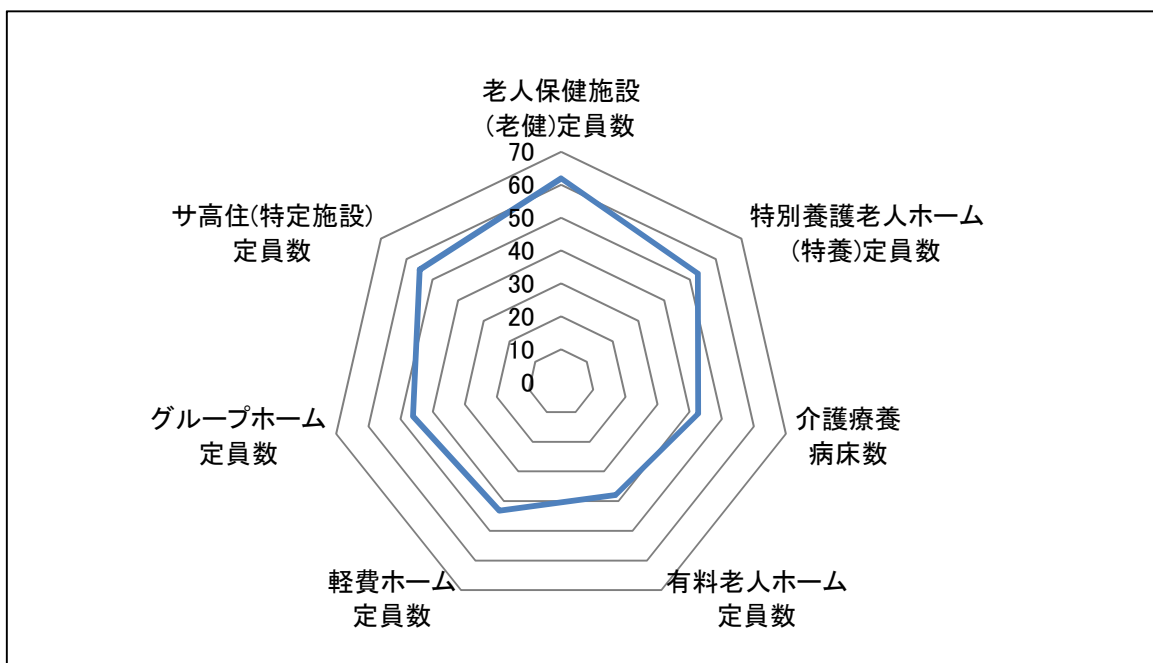
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
湯沢・雄勝	30	4.3%	2.2	55	209,785		12.9	(6.8)
					128	12.0%	9.6	45

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

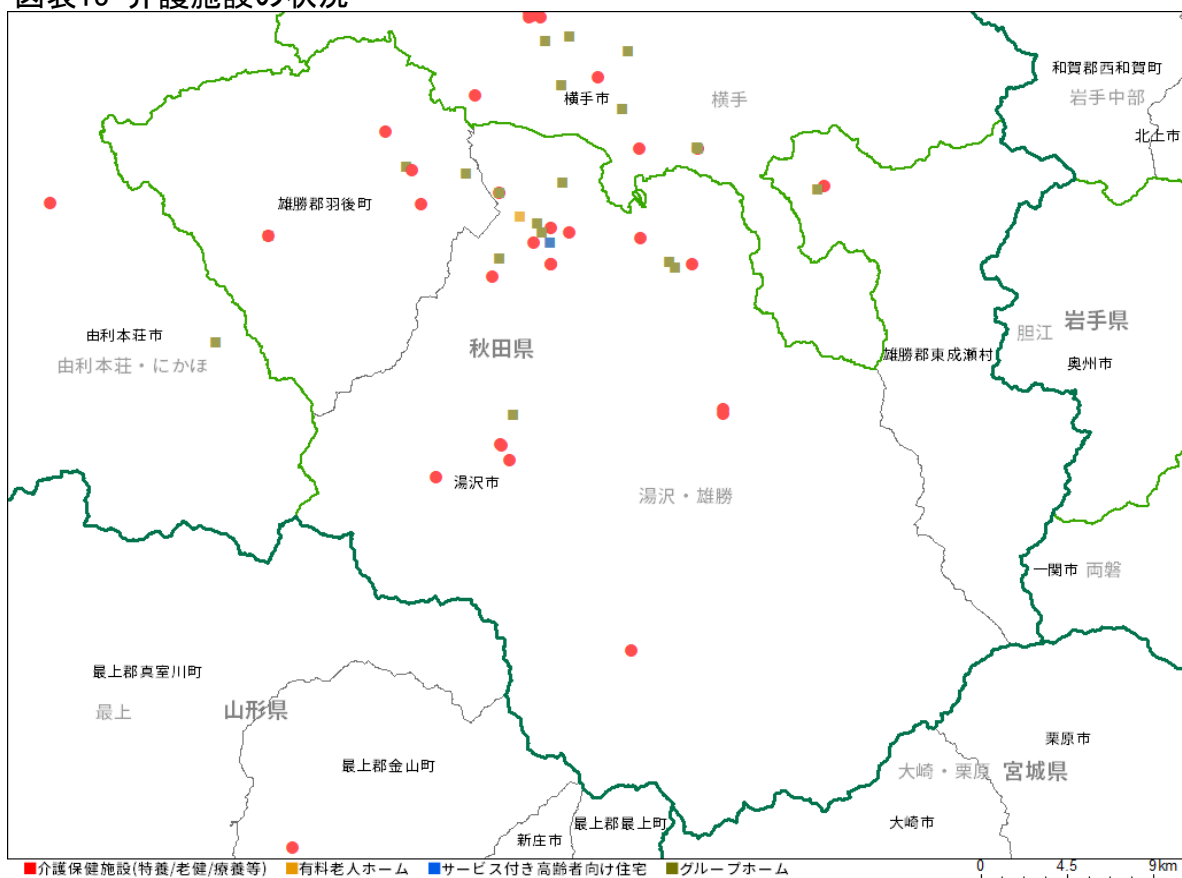
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
湯沢・雄勝	1,116	6.2%	83	54	104	7.8%	7.8	52

湯沢・雄勝

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



湯沢・雄勝

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院はなし(偏差値38)である。在宅療養支援診療所数は偏差値33と非常に少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値54とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値58と多い。

図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
湯沢・雄勝	0	0.0%	0	38	2	2.7%	0.1	33

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
湯沢・雄勝	54	11.9%	83.7	54	67	8.0%	103.8	58

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



湯沢・雄勝

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値37と少なく、訪問看護が偏差値29と非常に少なく、通所介護が偏差値35と少ない。通所リハが偏差値39と少なく、訪問入浴が偏差値45とやや少なく、短期入所が偏差値72と非常に多く、居宅介護支援が偏差値27と非常に少ない。訪問介護利用者数は偏差値34と非常に少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値38と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値28と全国平均レベルを大きく下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
湯沢・雄勝	14	5.4%	1.0	37	3	4.2%	0.2	29	17	4.5%	1.3	35

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
湯沢・雄勝	3	5.3%	0.2	39	1	2.9%	0.1	45	16	5.3%	1.2	72

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
湯沢・雄勝	16	3.9%	1.2	27

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
湯沢・雄勝	442	4.1%	33.1	34	88	4.3%	6.6	38	11	4.0%	0.8	28

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）

